

Kansai University
Library Forum

関西大学

図書館フォーラム

2018

第23号



Kansai University
Library Forum

関西大学

図書館フォーラム

2018

第23号



ミューズ大学図書館書架増設



総合図書館に飲料自動販売機を設置



総合図書館前階段に手すりを設置



貴重書画像の公開



図書館フォーラム Library Forum

第23号
2018 目次

図書館サ・エ・ラ (2017 図書館記録写真)

書見台

世界図書館巡礼 (4) 内田慶市 1

虫ぼし抄

関西大学所蔵「村田春門家集」(原題『藤門雑記 近代和歌』)(2)
..... 関西大学図書館 手紙を読む会 一

〈図書館自己点検・評価について〉 関西大学図書館自己点検・評価委員会 5

図書館談話室

平成29年度大学図書館近畿イニシアティブ「中級研修」に参加して 古林雅代 24

今話題の公共図書館について図書館初心者が考えてみた～大和市立図書館考～ 北野正人 28

図書館活動報告

2017年度図書館活動報告 31

図書館出版物案内 33

『図書館フォーラム』投稿要項 34

編集後記

世界図書館巡礼

—東西文化交渉の書籍を求めて (4)—

バチカン図書館・リヨン市立公共図書館

内田慶市

1. バチカン図書館

バチカン図書館については、前回の「世界図書館巡礼—東西文化交渉の書籍を求めて (3)」で詳しく述べたが、今回は、その続編として、関西大学とバチカン図書館の間でデジタル化に関する「協定」が結ばれたことについて述べておく。

バチカン図書館にはヨーロッパの文献だけでなく、実は中国や日本を中心として、更に、朝鮮、ベトナム、チベット、モンゴル、満洲等他のアジア諸国の文献資料も多く所蔵されている。このうち、中国関係の文献資料に関しては、キリスト教関係、西洋科学関係、中国古籍関係、辞典関係、芸術関係など約1,300点余りが所蔵されており、これについては、すでに北京外国語大学とローマ大学によってほぼデジタル化（写真撮影）が完了し、それは「梵蒂岡圖書館藏明清中西文化交流史文獻叢刊」（大象出版社）という形で4輯に分けて出版される（計画では全部で300冊）予定であり、すでにその第1輯44冊が刊行されている。これらの文献は近代における東西文化交渉史、キリスト教史、翻訳史、言語史等々の研究に極めて有益なものである。が、いかんせん、中国の出版社との契約の関係から、現在は、紙ベースのものだけで、ウェブ上での公開には至っておらず（書籍として全部出版された後で電子版が公開される予定）、デジタル化の時代にあって誠に残念なことである。

一方、バチカン図書館所蔵文献資料のデジタル化については、2014年からNTTデータがバチカンと契約を結び、とりあえず3,000冊の文献を対象としたデジタル化プロジェクトをスタートさせており、現在、順次、バチカン図書館のウェブサイト上に「デジタルバチカン文庫（DigiVatLib）」（図1）として公開されている。将来的にはバチカン図書館に所蔵される約8万冊すべてのデジタル化を目指すというが、すでに4年を経た今、規模を縮小するようなこ

とも耳にはしている。このNTTデータによるデジタル化プロジェクトは日本が世界に誇るべき画期的な事業といえる。しかしながら、唯一残念なことは、デジタル画像はアップされているが、その書誌情報（メタデータ）が不完全ないしは乏しいという点である。



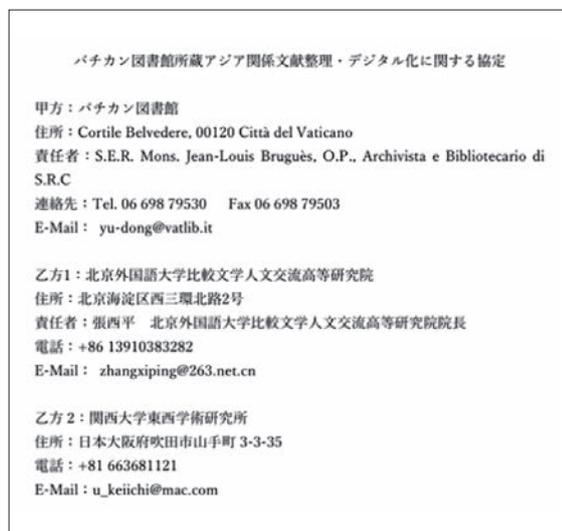
（図1）

また、日本や中国以外のアジア関係の文献資料に関しては、あまりデジタル化は進んではいないという状況である。

ところで、私たちは2017年度文部科学省の私立大学研究ブランディング事業として「オープン・プラットフォームが開く関大の東アジア文化研究」が採択され、「関西大学アジア・オープン・リサーチセンター：KU-ORCAS」を起ち上げた。本センターは、関西大学が長い間、培ってきた、研究リソースのデジタル・アーカイブスを基盤として、新しい人文知の創造を目指し、世界に開かれたアジア研究のハブ的機能を備えた、オープンプラットフォームを形成し、世界のアジア研究を牽引していこうという目的で作られたものであるが、その中の一つの目玉がバチカン図書館とのデジタル化に関する協定（「バチカン図書館所蔵アジア関係文献整理・デジタル化に関する協定」）締結である。

これは、バチカン図書館と関西大学、ローマ大学、

北京外国語大学が、今後10年間、共同でバチカン図書館所蔵のアジア関係文献資料をデジタル化し、さらにそれらの整理、目録編集、解題（書誌情報等）を作成していくというものであり、こうした協定は日本の大学機関としては初めてのものである（図2）。



(図2)

協定は2017年の9月に締結された（図3-4 = バチカン図書館副館長、ローマ大学マシーニ教授と）が、



(図3)



(図4)

まずは日本関係文献資料のデジタル化から始めていく予定である。

また、本協定に関連して2018年の2月には筆者がバチカン図書館館長のもとを訪れて、今後の協定の円滑化、デジタル化で期待される効果等について単独インタビューも行った。（図5）



(図5)

バチカン所蔵の日本関係文献資料に関しては、実は国文学研究資料館によって「マレガ・プロジェクト」が進行中である。これは、2011年にバチカン図書館で発見された来日宣教師マリオ・マレガ神父の収集したキリシタン禁制に関する約1万数千点の歴史的資料のデジタル・アーカイブスを目指したものであるが、それ以外にも以下のようなものが所蔵されていることが分かっている。

- Guia do peccador (ぎやどぺかどる = 罪人を善に導く書)……長崎のイエズス会のコレジオの印刷による木版 (1606)
- 日本語によるキリスト教義書
- 長崎のキリシタンが当時のローマ法王（パウロ5世）に宛てた手紙
- Vocabulario de la lengua Japona (1631, Madrid)……olladoによる日本語字典
- Lettera a varie communita cristiane in Giappone. (1628)……フランシスコ会のDiego de San Francisco 神父から日本のキリスト教団へ宛てた日本語の手紙
- 天正遣欧使節のベネチア共和国宛の手紙 (1587)
- 葡日字典 (Vocabulario da lingua portugueza) ……17cのイエズス会士によるもの
- 日本の口之津の42人の信者による宣教師を守る決意書 (1613.3.22)

- キリシタン殉教者名簿……1661-1672までの53人の名簿
- 大般若波羅密多經古写本、平安・奈良・室町・鎌倉時代の仏教写本
- 日本の舞踊の水彩画

他にも、16c-20c の日本文学や民俗関係、芸術作品なども所蔵されており、今後、こうした文献をデジタル化し、メタデータを作成して、バチカンの電子文庫に情報を公開していく予定である。また、日本関係以外のアジア諸国の文献についても徐々に作業を進めていくつもりである。

2. リヨン市立公共図書館 (bibliothèque municipale de Lyon = BML)

フランスではフランス国立図書館 (BnF) が有名であるが、もう一つ忘れてならないのはリヨン市立図書館である (図6)。Part-Dieu という駅の真ん前にある公共図書館であるが、ここにはBnFに次ぐ貴



(図6: 図書館の前で)

重書が収められている。

今回はフランスのパリ東洋言語研究所の Joël Bellassen (中国名=白樂桑) 教授の案内で訪れることができたが、図書館の責任者が中国語もできる人



(図7: 図書館員の説明を受ける)



(図8)

で、非常に助かった (図7-8)。見たい本は原則全て見せてくれるし、写真も自由に撮っていい。これが世界標準、ヨーロッパ標準なのだと思ながら感心した。

さて、今回初めてここを訪れて、ここには特に、私の研究分野である東西言語文化接触、とりわけ、イエズス会を中心としたヨーロッパの宣教師たちが著した漢学関係資料が豊富に残されていることが分かった。たとえば、Wieger Leon (中国名を戴遂良) の中国語で書かれた資料がこんなにあるとは思ってもいなかった。また、聖像画に関するものも多く、今後、詳細な調査が必要となるはずである。

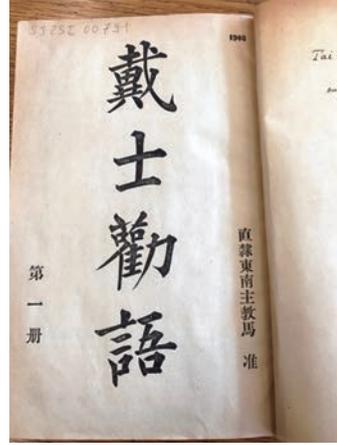
以下、気がついたものを少し挙げておくこととする。

(1) Dictionarium Latino Nankinense (1857)……
 いわゆるラテン語-南京官話対訳語彙集である
 が、南京官話研究には大いに役立つはずである。
 (図9-10)

(2) Wieger 関係……10数種が所蔵されている。
 (図11)
 (3) フランス語版『語言自邇集』(手書き) (図12)
 (4) 聖像画関係各種



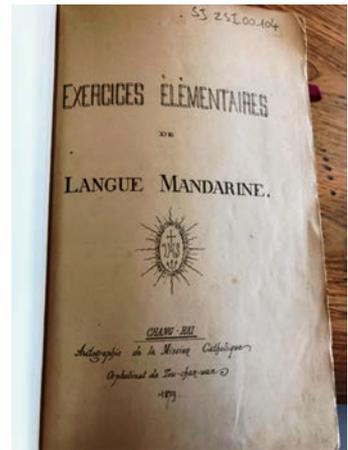
(図 9)



(図 11)



(図 10)



(図 12)

図書館自己点検・評価について

2017年度

□ 目 次 □

自己点検・評価関係資料

- 1 基礎データ（2017年度）…………… (1)
- 2 2017年度図書館自己点検・評価委員会名簿…………… (17)
- 3 関西大学図書館自己点検・評価委員会規程…………… (18)

自己点検・評価関係資料

1 基礎データ (2017年度)

(1) 入館者に関する統計
a 過去5年間の館別・月別開館日数
b 館別・所属別入館者数および1人当たり平均入館回数
c 館別・月別・資格別入館者数および1日当たり平均入館回数
d 時期別・時間帯別総入館者数および1日当たり平均入館者数 (総合図書館)
e 過去5年間の地域市民の図書館利用申請者数 (総合図書館・ミューズ大学図書館・堺キャンパス図書館)
(2) 図書資料の利用に関する統計
a 館別・月別図書利用者数および利用冊数
b 月別入庫検索者数 (総合図書館)
c グループ閲覧室、ラーニング・commons利用状況 (総合図書館)
d 文献複写サービス
e 図書館間相互利用件数
f 参考業務 (総合図書館)
g 利用指導
h 学内で閲覧利用できるオンラインジャーナル
i 過去5年間の文献・情報データベース検索回数
j キャンパス間相互利用件数 (予約取寄せ)
k 利用者用パソコン設置台数
(3) 蔵書に関する統計
① 収書状況
a 図書資料の所蔵数 (2017年度末現在)
b 過去5年間の図書の受入数
c 図書資料異動状況
d 雑誌・新聞受入種類数
② 分類別所蔵図書冊数 (日本十進分類法による)
③ 分類別所蔵雑誌種類数 (日本十進分類法による)
④ 図書費執行額5年間の推移
(4) その他関連統計等
① 過去5年間の図書館職員
② 学生の閲覧座席数 (2018年4月1日現在)
③ 10年間の展示会テーマと会期
④ 資料の出陳・放映 (学外からの依頼分)

(1) 入館者に関する統計

a 過去5年間の館別・月別開館日数

館	月	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	総合図書館	2013年度	30 (5)	31 (7)	30 (5)	31 (5)	19 (0)	25 (3)	31 (5)	26 (4)	25 (5)	26 (4)	16 (0)	20 (0)	310 (43)
2014年度		30 (5)	31 (7)	30 (5)	31 (5)	17 (0)	27 (3)	30 (4)	26 (5)	26 (4)	26 (4)	17 (0)	19 (0)	310 (42)	
2015年度		30 (4)	31 (8)	30 (4)	31 (5)	17 (0)	27 (3)	31 (4)	26 (4)	25 (5)	24 (5)	23 (0)	23 (0)	318 (42)	
2016年度		30 (4)	31 (8)	29 (3)	31 (5)	16 (0)	25 (2)	31 (5)	26 (5)	24 (4)	24 (5)	16 (0)	21 (0)	304 (41)	
2017年度		30 (5)	31 (7)	30 (4)	31 (5)	17 (0)	26 (1)	31 (6)	26 (4)	25 (5)	26 (5)	16 (0)	22 (0)	311 (42)	
高槻 キャンパス 図書館	2013年度	25	24	25	26	15	21	26	22	20	22	16	20	262	
	2014年度	25	24	25	26	13	21	26	21	22	22	17	19	261	
	2015年度	25	23	26	27	13	20	27	22	21	20	23	23	270	
	2016年度	26	23	26	26	16	20	26	22	20	20	22	22	269	
	2017年度	25	24	26	26	16	22	25	23	20	20	22	22	271	

ミューズ 大学図書館	2013年度	25	24	25	26	15	21	26	22	20	22	16	20	262
	2014年度	25	24	25	26	13	21	26	21	22	22	17	19	261
	2015年度	25	23	26	27	13	20	27	22	21	20	23	23	270
	2016年度	26	23	26	26	10	16	26	22	20	20	22	22	259
	2017年度	25	24	26	26	16	22	25	23	20	20	22	22	271

堺キャンパス 図書館	2013年度	25	24	25	26	15	21	26	22	20	22	16	20	262
	2014年度	25	24	25	26	13	21	26	21	22	22	17	19	261
	2015年度	25	23	26	27	13	20	27	22	21	20	23	23	270
	2016年度	26	23	26	26	16	20	26	22	20	20	22	22	269
	2017年度	25	24	26	26	16	22	25	23	20	20	22	22	271

注1 総合図書館の下段（ ）は内数で、授業期間中の日曜・祝日開館日数を示す。高槻・ミューズ・堺の各図書館は日曜・祝日は休館。

注2 夏季一斉休業期間中の休館 8月11日～8月20日

注3 学園祭による臨時休館 11月2日～5日

注4 冬季一斉休業期間中の休館 12月26日～1月5日

注5 入学試験等による休館 2月1日～2月8日、3月3日～3月4日

注6 年度末休館 3月29日～3月31日

b 館別・所属別入館者数および1人当たり平均入館回数

所属		館	総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館
学部 学生	法 学 部	入 館 者 数	110,735	3	346	197
		平均入館回数	33.9	0.0	0.1	0.1
	文 学 部	入 館 者 数	103,374	5	169	135
		平均入館回数	30.5	0.0	0.0	0.0
	経 済 学 部	入 館 者 数	95,679	3	44	53
		平均入館回数	29.3	0.0	0.0	0.0
	商 学 部	入 館 者 数	74,927	2	49	53
		平均入館回数	24.1	0.0	0.0	0.0
	社 会 学 部	入 館 者 数	69,756	7	115	311
		平均入館回数	19.9	0.0	0.0	0.1
	政策創造学部	入 館 者 数	43,372	0	41	32
		平均入館回数	26.8	0.0	0.0	0.0
	外 国 語 学 部	入 館 者 数	14,868	0	5	5
		平均入館回数	20.5	0.0	0.0	0.0
	人間健康学部	入 館 者 数	2,455	5	9	29,790
		平均入館回数	1.8	0.0	0.0	21.2
	総合情報学部	入 館 者 数	1,307	25,704	897	34
		平均入館回数	0.6	11.5	0.4	0.0
	社会安全学部	入 館 者 数	1,101	0	17,072	0
		平均入館回数	0.9	0.0	13.8	0.0
システム理工学部	入 館 者 数	56,592	2	19	5	
	平均入館回数	25.1	0.0	0.0	0.0	
環境都市工学部	入 館 者 数	33,207	0	57	31	
	平均入館回数	22.1	0.0	0.0	0.0	
化学生命工学部	入 館 者 数	40,969	0	26	30	
	平均入館回数	26.9	0.0	0.0	0.0	
学部合計		入 館 者 数	648,342	25,731	18,849	30,676
		平均入館回数	22.3	0.9	0.6	1.1
大学院学生		入 館 者 数	38,664	843	685	266
		平均入館回数	22.1	0.5	0.4	0.2
専任 教職員	大 学 教 員	入 館 者 数	6,293	332	512	215
		平均入館回数	8.5	0.4	0.7	0.3
	高 中 小 幼 教 諭	入 館 者 数	46	0	49	0
		平均入館回数	0.2	0.0	0.2	0.0
	事 務 職 員	入 館 者 数	2,045	85	85	26
		平均入館回数	4.2	0.2	0.2	0.1
上記を除く教職員		入 館 者 数	9,386	245	405	146
校 友		入 館 者 数	12,824	28	2,269	368
そ の 他		入 館 者 数	23,191	427	4,996	236
合 計		入 館 者 数	740,791	27,691	27,850	31,933

注1 平均入館回数は、入館者数を利用対象者数（2017年5月1日現在）で除した1人当たりの数値である。

注2 「その他」は地域市民、科目等履修生、聴講生、留学生別科、協定大学の専任教員・大学院学生、他機関からの利用者。

c 館別・月別・資格別入館者数および1日当り平均入館回数

館・資格 月		総合図書館						
		学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日平均 月～土曜日
4	65,579	4,552	2,087	1,220	2,303	75,741	2,961.20	342.4
5	75,864	4,492	1,930	1,582	2,602	86,470	3,483.50	409.3
6	79,464	4,424	1,900	1,477	2,516	89,781	3,394.90	378.3
7	118,997	4,132	1,657	1,565	2,409	128,760	4,737.10	1,119.20
8	8,447	1,388	768	627	969	12,199	717.6	—
9	25,584	2,728	1,357	1,020	1,735	32,424	1,286.40	264
10	60,466	4,242	1,883	1,216	2,771	70,578	2,749.90	305
11	58,637	3,542	1,672	1,051	2,243	67,145	3,122.10	395
12	51,002	3,389	1,523	877	1,934	58,725	2,846.90	357.6
1	87,389	3,253	1,381	909	1,844	94,776	4,290.00	937.2
2	7,752	1,101	651	490	705	10,699	594.4	—
3	9,161	1,421	961	790	1,160	13,493	613.3	—
合 計	648,342	38,664	17,770	12,824	23,191	740,791	2,662.80	519.9
館・資格 月		高槻キャンパス図書館						
		学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日平均 月～土曜日
4	3,293	81	94	0	27	3,495	139.8	—
5	3,559	95	89	1	24	3,768	157	—
6	3,226	137	93	0	39	3,495	134.4	—
7	4,443	133	72	2	46	4,696	180.6	—
8	59	27	21	3	16	126	8.4	—
9	1,161	64	48	2	42	1,317	59.9	—
10	2,668	108	69	7	45	2,897	111.4	—
11	2,148	64	76	3	38	2,329	105.9	—
12	1,965	23	20	0	36	2,044	102.2	—
1	3,103	69	36	0	55	3,263	163.2	—
2	66	27	18	4	30	145	6.6	—
3	40	15	26	6	29	116	5.3	—
合 計	25,731	843	662	28	427	27,691	108.5	—
館・資格 月		ミューズ大学図書館						
		学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日平均 月～土曜日
4	2,192	111	134	126	468	3,031	121.2	—
5	2,418	80	111	168	517	3,294	137.3	—
6	2,576	64	110	152	516	3,418	131.5	—
7	3,405	71	105	232	392	4,205	161.7	—
8	175	28	71	128	390	792	52.8	—
9	703	36	88	225	359	1,411	64.1	—
10	1,381	43	83	182	485	2,174	83.6	—
11	1,382	50	82	200	405	2,119	96.3	—
12	1,210	79	79	186	399	1,953	97.7	—
1	2,615	65	84	223	404	3,391	169.6	—
2	488	39	53	234	289	1,103	50.1	—
3	304	19	51	213	372	959	43.6	—
合 計	18,849	685	1,051	2,269	4,996	27,850	109.2	—

館・資格 月	堺キャンパス図書館							
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日平均 月～土曜日	日平均 日曜・祝日
4	2,555	30	44	58	25	2,712	108.5	-
5	3,181	21	48	46	19	3,315	138.1	-
6	3,765	25	66	43	23	3,922	150.8	-
7	6,261	20	54	72	22	6,429	247.3	-
8	129	12	12	6	15	174	11.6	-
9	995	21	28	18	30	1,092	49.6	-
10	2,762	43	39	37	21	2,902	111.6	-
11	2,968	37	24	26	24	3,079	140	-
12	2,842	18	17	14	23	2,914	145.7	-
1	4,439	22	25	16	18	4,520	226	-
2	331	10	14	6	6	367	16.7	-
3	448	7	16	26	10	507	23	-
合 計	30,676	266	387	368	236	31,933	106.2	-

注1 「その他」は地域市民、科目等履修生、聴講生、留学生別科、協定大学の専任教員・大学院学生、他機関からの利用者。

d 時期別・時間帯別総入館者数および1日当たり平均入館者数（総合図書館）

区 分	時間帯	9～10	10～11	11～12	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	合 計	
春 学 期	授業期間	総入館者	15,444	35,272	21,279	50,158	29,752	49,489	20,035	36,022	18,345	12,555	7,181	3,654	1,257	300,443
		1日平均	181.7	415	250	590.1	350	582.2	235.7	423.8	215.8	147.7	84.5	43	14.8	3,534.6
	試験期間	総入館者	3,950	5,846	5,984	8,631	7,092	9,648	5,606	5,840	4,418	3,227	2,287	1,490	344	64,363
		1日平均	329.2	487.2	499	719.3	591	804	467.2	486.7	368.2	268.9	190.6	124.2	28.7	5,363.6
	休暇期間	総入館者	/	3,733	2,304	3,124	4,058	3,458	2,959	3,170	1,999	1,011	472	/	/	26,288
		1日平均	/	100.9	62	84.4	109.7	93.5	80	85.7	54	27.3	12.8	/	/	2,190.7
	小 計	総入館者	19,394	44,851	29,567	61,913	40,902	62,595	28,600	45,032	24,762	16,793	9,940	5,144	1,601	391,094
		1日平均	144.7	334.7	221	462	305.2	467.1	213.4	336.1	184.8	125.3	74.2	38.4	11.9	2,918.6

秋 学 期	授業期間	総入館者	10,669	24,120	16,146	41,916	25,405	38,235	17,772	29,875	16,398	10,019	6,086	3,235	1,234	241,110
		1日平均	128.5	290.6	194.5	505	306.1	460.7	214.1	359.9	197.6	120.7	73.3	39	14.9	2,904.9
	試験期間	総入館者	3,243	5,216	5,512	8,211	6,777	8,894	5,513	6,345	4,638	3,263	2,480	1,442	404	61,938
		1日平均	249.5	401.2	424	631.6	521.3	684.2	424.1	488.1	356.8	251	190.8	110.9	31.1	4,764.5
	休暇期間	総入館者	/	2,752	2,145	3,123	3,685	3,459	3,052	3,336	1,889	980	394	/	/	24,815
		1日平均	/	67.1	52.3	76.2	89.9	84.4	74.4	81.4	46.1	23.9	9.6	/	/	605.2
	小 計	総入館者	13,912	32,088	23,803	53,250	35,867	50,588	26,337	39,556	22,925	14,262	8,960	4,677	1,638	327,863
		1日平均	101.5	234.2	173.7	388.7	261.8	369.3	192.2	288.7	167.3	104.1	65.4	34.1	12	2,393.2

日祝開館	総入館者	/	3,145	2,301	2,983	3,844	3,477	2,850	2,181	1,053	/	/	/	/	21,834
	1日平均	/	74.9	54.8	71	91.5	82.8	67.9	51.9	25.1	/	/	/	/	519.9

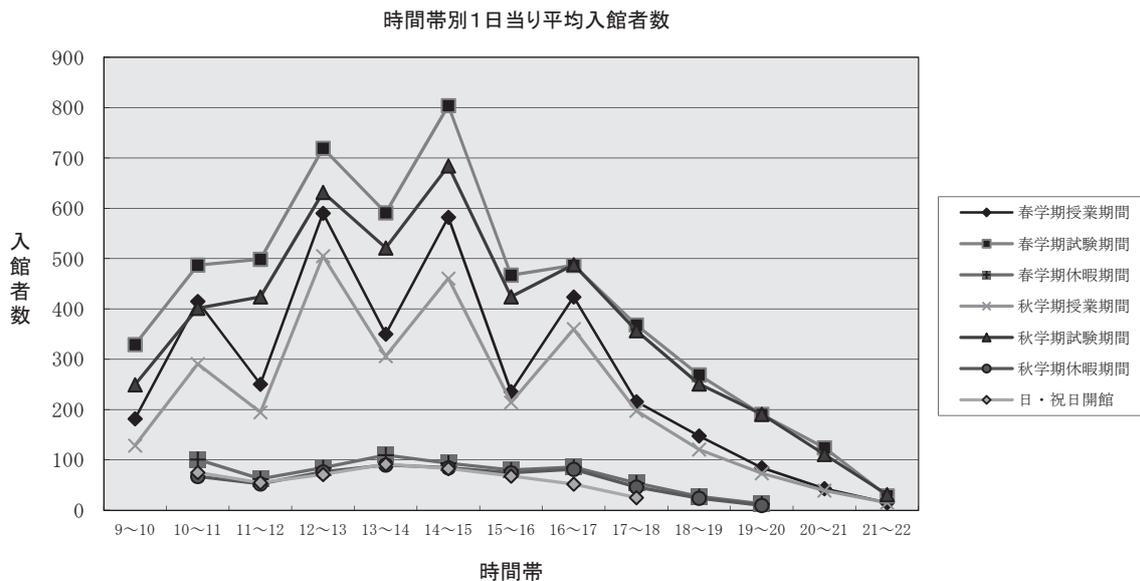
年度合計	総入館者	33,306	80,084	55,671	118,146	80,613	116,660	57,787	86,769	48,740	31,055	18,900	9,821	3,239	740,791
	1日平均	106.4	255.9	177.9	377.5	257.5	372.7	184.6	277.2	155.7	99.2	60.4	31.4	10.3	2,366.7

注1 春学期 授業期間：4月6日～7月22日、試験期間：7月24日～7月31日、休暇期間：4月1日～4月5日、8月2日～9月20日
 秋学期 授業期間：9月21日～12月25日・1月6日～1月22日、試験期間：1月23日～1月30日、休暇期間：12月26日～1月5日・2月1日～3月31日

注2 授業期間とは、学年歴による授業期間を示す。

注3 各期間の入館者数には、日祝開館に係る数値を含まない。

注4 試験期間とは、図書資料の貸出期間を3日間に短縮した日から試験終了日（予備日含む）までを示す。



e 過去5年間の地域市民の図書館利用申請者数（総合図書館・ミューズ大学図書館・堺キャンパス図書館）

総合図書館	新規	再登録	合計	対象
2013年度	52	101	153	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2014年度	54	99	153	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2015年度	50	101	151	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2016年度	45	101	146	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2017年度	49	101	150	吹田市・池田市・八尾市の在住者

注1 2017年度の登録者（150名）の内訳は、吹田市147名、池田市3名、八尾市0名。

ミューズ大学図書館	新規	再登録	合計	対象
2013年度	37	57	94	高槻市在住者
2014年度	27	64	91	高槻市在住者
2015年度	18	62	80	高槻市在住者
2016年度	31	56	87	高槻市在住者
2017年度	29	54	83	高槻市在住者

堺キャンパス図書館	新規	再登録	合計	対象
2013年度	11	4	15	堺市在住者
2014年度	6	7	13	堺市在住者
2015年度	10	10	20	堺市在住者
2016年度	4	5	9	堺市在住者
2017年度	5	3	8	堺市在住者

(2) 図書資料の利用に関する統計

a 館別・月別図書利用者数および利用冊数

利用者区分		月												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合	館内閲覧	学部学生	324	464	471	434	114	320	663	602	707	525	34	27	4,685
			489	612	667	633	186	488	945	885	1,045	786	61	50	6,847
		大学院学生	107	89	80	108	19	68	119	113	110	54	26	23	916
			198	134	125	178	31	124	167	181	180	82	34	53	1,487
		教職員	63	40	43	48	51	65	54	63	57	58	36	29	607
			99	63	63	73	80	95	80	100	81	102	56	56	948
	その他	268	321	284	373	195	249	207	239	217	172	136	154	2,815	
		590	629	561	783	388	466	490	464	429	354	305	477	5,936	
	計	762	914	878	963	379	702	1,043	1,017	1,091	809	232	233	9,023	
		1,376	1,438	1,416	1,667	685	1,173	1,682	1,630	1,735	1,324	456	636	15,218	
図書館	館外貸出	学部学生	9,200	11,008	13,160	15,064	2,133	5,792	11,688	10,596	11,455	11,474	1,198	828	103,596
			13,955	18,555	21,582	24,471	4,428	9,942	20,056	19,123	21,181	21,179	2,369	1,657	178,498
		大学院学生	3,255	3,191	3,056	2,844	1,052	2,064	3,289	2,800	2,935	2,594	759	634	28,473
			4,592	4,417	4,315	4,264	1,860	3,220	4,512	3,909	4,124	3,924	1,339	1,409	41,885
		教職員	1,551	1,248	1,228	1,138	746	1,144	1,359	1,116	1,194	1,063	566	586	12,939
			2,443	1,946	1,996	1,698	1,263	1,921	2,169	1,782	1,774	1,695	947	1,142	20,776
	その他	1,777	2,449	2,321	2,656	1,110	1,467	1,892	1,803	1,743	1,674	701	730	20,323	
		2,769	3,111	3,053	3,471	1,985	2,395	2,529	2,429	2,390	2,344	1,590	1,836	29,902	
	計	15,783	17,896	19,765	21,702	5,041	10,467	18,228	16,315	17,327	16,805	3,224	2,778	165,331	
		23,759	28,029	30,946	33,904	9,536	17,478	29,266	27,243	29,469	29,142	6,245	6,044	271,061	
	合計	16,545	18,810	20,643	22,665	5,420	11,169	19,271	17,332	18,418	17,614	3,456	3,011	174,354	
		25,135	29,467	32,362	35,571	10,221	18,651	30,948	28,873	31,204	30,466	6,701	6,680	286,279	
高槻キャンパス図書館	館内閲覧・館外貸出	学部学生	426	595	557	473	36	166	466	402	391	355	21	14	3,902
			617	857	764	731	65	287	686	578	646	595	47	30	5,903
		大学院学生	26	47	75	41	21	4	42	10	36	41	11	6	360
			50	93	115	65	18	10	82	14	63	91	19	14	634
		教職員	29	33	28	29	15	19	37	25	18	9	20	12	274
			59	63	43	47	27	38	72	35	23	23	37	38	505
	その他	10	26	27	30	19	67	43	70	26	24	16	24	382	
		11	36	36	39	58	117	80	142	49	39	31	40	678	
	計	491	701	687	573	91	256	588	507	471	429	68	56	4,918	
		737	1,049	958	882	168	452	920	769	781	748	134	122	7,720	
ミューズ大学図書館	館内閲覧・館外貸出	学部学生	330	280	457	501	70	158	277	284	304	533	84	36	3,314
			487	391	701	798	150	285	439	492	508	868	150	64	5,333
		大学院学生	71	57	35	37	19	32	24	17	39	24	24	5	384
			133	99	53	61	34	70	37	37	74	48	49	7	702
		教職員	53	30	51	35	24	33	28	21	24	32	8	15	354
			82	45	82	59	43	55	42	46	36	48	12	41	591
	その他	185	197	117	167	104	123	129	113	96	98	60	61	1,450	
		287	276	185	253	178	179	223	181	168	153	106	110	2,299	
	計	639	564	660	740	217	346	458	435	463	687	176	117	5,502	
		989	811	1,021	1,171	405	589	741	756	786	1,117	317	222	8,925	
堺キャンパス図書館	館内閲覧・館外貸出	学部学生	233	398	590	1,135	38	168	389	406	437	592	42	30	4,458
			330	582	813	1,753	95	293	591	639	782	1,079	83	57	7,097
		大学院学生	17	10	8	6	11	18	23	16	18	8	8	2	145
			22	19	12	10	20	25	29	21	26	8	18	4	214
		教職員	37	30	50	27	9	23	21	24	18	14	10	9	272
			70	46	98	50	17	47	46	64	34	20	21	15	528
	その他	41	66	86	74	20	40	52	58	62	51	35	25	610	
		58	104	116	93	36	56	100	139	90	74	50	38	954	
	計	328	504	734	1,242	78	249	485	504	535	665	95	66	5,485	
		480	751	1,039	1,906	168	421	766	863	932	1,181	172	114	8,793	

注1 館内閲覧・館外貸出ともに上段は利用者数、下段は利用冊数を示す。

注2 総合図書館の館内閲覧は、書庫図書の出納・取り寄せによる館内閲覧手続を行なったものを示す。

b 月別入庫検索者数(総合図書館)

利用区分		月												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合図書館	入庫検索	学部学生	512	663	774	783	214	511	952	831	943	562	69	61	6,875
	大学院学生	856	976	915	796	332	544	856	725	806	717	247	294	8,064	
	教職員	684	603	591	591	355	473	587	476	537	505	283	360	6,045	
	その他	57	71	74	97	78	79	82	56	74	54	38	56	816	
	計	2,109	2,313	2,354	2,267	979	1,607	2,477	2,088	2,360	1,838	637	771	21,800	

注1 入庫検索とは、図書館利用規程第13条による書庫図書の利用をいう。

注2 「その他」とは、特別の事由により入庫を許可された研究員等を示す。

c-1 グループ閲覧室利用状況(総合図書館)

区分	月別												合計	月平均 (日・祝日を除く)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
利用コマ数	43	49	34	28	14	27	28	31	29	14	11	12	320	26.6
利用者数	694	838	621	411	144	234	353	438	393	161	103	94	4,484	373.6

注1 授業時間90分をコマ単位としている。

c-2 ラーニング・コモンズ利用状況(総合図書館)

ワーキング・エリア利用状況

区分	月別												合計	月平均 (日・祝日を除く)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
利用件数	320	604	723	780	177	230	576	573	478	447	43	59	5,010	
利用者数	1,367	2,694	3,211	3,209	853	1,060	2,685	2,758	1,800	1,692	227	218	21,774	
一日あたりの利用者数	57.0	112.3	123.5	123.4	50.2	48.2	107.4	125.4	90.0	84.6	17.5	12.1	84.7	

ワークショップ・エリア利用状況

区分	月別												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用件数	38	43	23	6	0	2	10	11	4	1	0	0	138
利用者数	1,074	674	521	337	0	79	195	402	110	40	0	0	3,432

d 文献複写サービス

種別・月別	区分					小計
	総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館		
枚電子式複写	モノクロ	949,964	3,765	4,732	4,865	963,326
	カラー	17,435	126	118	26	17,705
	マイクロ	6,271	0	0	0	6,271
	合計	973,670	3,891	4,850	4,891	987,302

注1 「モノクロ」はモノクロ複写とモノクロプリントアウトの合計枚数。

注2 「カラー」はカラー複写とカラープリントアウトの合計枚数。

e 図書館間相互利用件数

種別 月別	国内								国外							
	提供				依頼				提供				依頼			
	閲覧	貸出	複写	合計	閲覧	借用	複写	合計	閲覧	貸出	複写	合計	閲覧	借用	複写	合計
4月	43	64	288	395	6	38	148	192	0	0	3	3	0	3	18	21
5月	22	42	306	370	9	36	179	224	0	0	0	0	0	0	10	10
6月	39	59	335	433	12	62	165	239	0	0	1	1	0	0	15	15
7月	46	87	240	373	14	46	231	291	0	1	6	7	2	0	8	10
8月	15	62	151	228	17	29	162	208	0	1	1	2	0	0	1	1
9月	35	66	249	350	10	62	140	212	0	0	1	1	0	0	27	27
10月	22	58	339	419	17	60	154	231	0	0	0	0	0	0	38	38
11月	32	66	249	347	9	68	167	244	0	0	5	5	0	0	20	20
12月	24	59	226	309	12	46	191	249	0	0	4	4	1	0	4	5
1月	32	52	183	267	3	29	134	166	0	1	0	1	0	0	4	4
2月	25	45	186	256	10	25	114	149	0	0	0	0	1	0	3	4
3月	25	52	150	227	12	43	136	191	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	360	712	2,902	3,974	131	544	1,921	2,596	0	3	21	24	4	3	148	155

注1 提供の貸出と複写、依頼の借用と複写の件数にはキャンセル件数を含む。

f 参考業務（総合図書館）

(件数)

区分	学内利用者				学外利用者			合計	
	教職員	大学院学生	学部学生	その他	校 友	諸機関	その他		
調査	所 蔵	16	15	9	3	1	0	0	44
	事 項	23	6	8	4	2	0	0	43
	そ の 他	6	3	0	0	0	0	0	9
	計	45	24	17	7	3	0	0	96

注1 総合図書館における申込書の提出により処理した件数。

注2 学内利用者中の「その他」には、学内他部署からの業務上の問い合わせのほか、科目等履修生、聴講生、留学生別科を含む。

g 利用指導

種 別	区 分	総合図書館			高槻キャンパス図書館			ミューズ大学図書館			堺キャンパス図書館		
		件数	クラス	人数	件数	クラス	人数	件数	クラス	人数	件数	クラス	人数
①	入門ガイダンス「蔵書検索を学ぼう」	95	95	1,981	13	13	250	10	10	281	17	17	342
②	活用ガイダンス「文献のさがし方を学ぼう」	104	136	1,828	11	11	153	17	17	348	4	3	52
③	上位年次生のための入庫ガイダンス	396	174	2,105	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 件数は実施回数、クラス数は参加したクラス数、人数は参加者延べ数である。

注2 ①②はクラス・ゼミ・研究室対象。

注3 ③は各図書館で実施した総合図書館地下書庫ガイダンスで、クラス単位と個人単位の総数。

h 学内で閲覧利用できるオンラインジャーナル

種 類	タイトル数 (端数が不明のものは概数)	種 類	タイトル数 (端数が不明のものは概数)
ACS (American Chemical Society)	52	Oxford Journals	282
APS (American Physical Society)	11	RSC (Royal Society of Chemistry)	44
beck-online	222	Sage Premier	872
Cambridge Journals Online	384	OECD iLibrary	1,391
Elsevier ScienceDirect	2,282	SpringerLINK	1,595
Emerald Fulltext	120	Taylor & Francis	2,007
IEL (IEEE/ET Electronic Library)	495	Wiley Online Library	1,666
JSTOR	115	日経 BP 記事検索サービス	41
		その他	3,552
		合 計	15,131

注1 2016年まで取り上げていたCiNiiはサイト利用料が無料になり、掲載論文が別サイトに移行したため、当統計の対象から外した。

i 過去5年間の文献・情報データベース検索回数

種 別	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	備 考
1 AFP World Academic Archive *	—	23(4-12月)	11	86	258	2014年4月～
2 beck-online:プレミアム版(ドイツ法情報データベース)	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	
3 Bibliography of British and Irish History *	5	9	26	14	8	2011年5月～
4 Business Archives Online	100	183	248	147	133	2013年4月～
5 Business Source Complete(ビジネス関連データベース)	4,989	7,200	8,466	7,568	7,046	2012年2月～
6 CiNii(NII論文情報ナビゲータ)	264,408	785,831	666,680	598,592	389,476	2005年4月～
7 DBpia	—	805(4-12月)	2077	1,333	1,595	2014年4月～
8 eBook Collection(EBSCOhost)	6,878	13,614	14,064	7,642	10,503	2011年7月～
9 EconLit with Full Text	3,138	5,091	6,777	1,495	5,587	2012年2月～
10 The Economist Historical Archive 1843-2012	95	60	127	88	72	2012年7月～
11 Eighteenth Century Collections Online	1,229	760	326	79	556	2013年4月～
12 英国王立国際問題研究所(チャタム・ハウス)オンライン・アーカイブ	—	134(4-12月)	48	24	15	2014年4月～
13 Entertainment Industry Magazine Archive	496	—	—	—	—	2013年4月～
14 eol(有価証券報告書を含む企業情報データベース)	93,609	139,749	79,064	38,149	128,417	2006年4月～
15 Factiva.com	1,481	1,974	2,592	3,053	3,744	2013年4月～
16 Financial Times Historical Archive 1888-2009	51	54	25(1~3月)	—	—	2012年4月～ 2015年3月
17 Frantext	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	2007年10月～
18 Global Trade Atlas *	—	102(4-12月)	60	34	23	2014年4月～
19 ゴールドスマ・ケルズ両文庫所蔵社会科学系学術図書館データベース(MOMW I)&MOMW II★	6	91	3	9	5	2013年4月～
20 新・判例解説 Watch *	208	161	209	230	242	2011年7月～
21 HeinOnline	492	758	567	740	1,226	2012年～
22 法律文献総合 Index *	295	231	260	344	267	2011年7月～
23 法律判例文献情報(法関連文献索引) *	2,549	2,953	2,699	2,721	2,511	2006年4月～
24 18th Century House of Commons, Parliamentary Papers ★	0	0(4-12月)	0	0	0	2013年4月～
25 19th & 20th Century House of Commons, Parliamentary Papers ★	0	12(4-12月)	6	2	44	2009年～
26 医中誌 Web	—	2,206(4-12月)	5,609	3,566	6,671	2014年4月～
27 ICPSR ★	129	17	337	108	225	2005年4月～
28 The Illustrated London News Historical Archive 1842-2003	41	75	89	93	103	2013年4月～
29 Integrum ★	666	96	284	194	122	2013年4月～

30	International Index to Music Periodicals	470	—	—	—	—	2013年4月～
31	International Medieval Bibliography Online *	10	4	20	14	17	2011年5月～
32	ジャパンナレッジ Lib (百科事典データベース)	2,587	3,507	34,114	39,082	43,839	2005年4月～
33	The Japan Times Archives	—	—	98(4月～)	69	268	2015年4月～
34	JCIF (国際金融情報センターオンラインサービス)	18	8	187	17	10	2006年4月～
35	JDream III (科学技術情報索引)	15,593	41,426	32,691	20,805	14,864	
36	Journal Citation Reports	3,677	102(1月-3月)	903	526	965	2010年4月～
37	JURIS Online ★ (独国法律情報データベース)	1,980	1,548	2,924	2,028	1,572	2004年10月～
38	化学書資料館 (国内で発行された化学書データベース)	1,780	2,139	3,626	3,228	1,716	2007年4月～
39	官報情報データベース ▲	34	13	19	6	7	2006年4月～
40	聞蔵II ビジュアル (朝日新聞記事索引) *	15,845	20,752	20,858	40,380	60,518	2006年10月～
41	KISS △	10,712	6,267	5,666	3,850	2,561	2008年8月～
42	公的判例集データベース *	511	408	371	387	469	2011年7月～
43	Kuselit Online	—	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	2014年4月～
44	教保文庫スカラー	—	395(4-12月)	800	328	546	2014年4月～
45	LearnTechLib	—	—	計数されていない	計数されていない	計数されていない	2015年～
46	LEX/DB インターネット (法律情報データベース) *	5,098	5,683	5,548	5,483	5,135	2003年4月～
47	Lexis Advance (法情報索引)	2,532	2,704	4,047	2,198	1,562	
48	Magazine Plus (和雑誌記事索引)	14,566	15,499	14,875	21,913	41,859	
49	毎索 (毎日新聞記事索引)	3,041	26,498	9,187	6,321	6,423	2005年4月～
50	MathSciNet (数学文献データベース)	12,169	9,753	10,363	10,152	11,017	2006年11月～
51	MLA International Bibliography *	498	—	—	—	—	2011年4月～
52	Mpac (マーケティング情報サービス)	6,360	1,219	1,101	1,081	557	2007年10月～
53	日本文学 web 図書館 *	598	569	158	236	495	2013年4月～
54	日経NEEDS-Financial QUEST (社会・地域統計) ★	662	7,727	106,807	4,920	17,903	2002年7月～
55	日経テレコン (日本経済新聞ビジネス情報データベース) ☆	1,157,022	1,426,705	1,555,369	1,512,327	1,545,578	2003年10月～
56	19th Century U.S. Newspapers	—	143(4-12月)	340	138	122	2014年4月～
57	Oxford English Dictionary	—	535(4-12月)	650	1,089	791	2014年4月～
58	ProQuest Basic Search (専門分野型データベース)	8,543	5,542	3,397	2,142	2,218	2003年11月～
59	ProQuest Congressional	28	112	91	32	33	
60	PsycARTICLES (心理学文献データベース)	—	項目なし	2024(4-12月)	3,872	3,622	2014年4月～
61	PsycINFO (心理学雑誌記事・文献索引)	1,695	—	2066(4-12月)	3,835	3,634	2006年4月～
62	Regional Business News (地域ビジネス関連データベース)	2,504	4,033	5,186	863	4,790	2012年2月～
63	The Sankei Archives (産経新聞ニュース検索サービス) *	—	1,373(4-12月)	1,991	2,519	2,527	2014年4月～
64	SciFinder Academic (化学情報データベース)	47,869	55,108	63,334	61,294	57,728	
65	Super 法令 web *	163	127	145	95	76	2011年7月～
66	The Times Digital Archive 1785-1985	140	129	179	201	203	2012年7月～
67	Translation Studies Bibliography *	8	10	18	6	1	2012年4月～
68	Web of Knowledge (引用・被引用論文索引) *	11,793	—	—	—	—	～2013年12月
69	Web of Science (引用・被引用論文索引)	10,007	22,498	31,653	34,908	34,129	2001年8月～
70	Web OYA-bunko (大宅壮一文庫雑誌記事索引) *	527	332	297	225	311	2005年11月～
71	Westlaw Next (法情報索引)	3,910	3,793	2,350	3,055	6,912	
72	World Bank e-Library	—	40(4-12月)	25	13	16	2014年4月～
73	山一証券株式会社第一期・オンライン版 △	—	42(4-12月)	32	9	33	2014年4月～
74	ヨミダス歴史館 (読売新聞記事索引)	13,193	16,685	10,072	11,456	11,312	2005年4月～

注1 統計算出方法について

- (1) 各統計は、1月～12月までの検索回数合計である。統計値については、データベース提供機関が独自の基準で計数した値をそのまま利用しているため、それぞれの統計値が必ずしも同じ算出方法であるとは限らない。
- (2) *はログイン回数、☆は結果表示件数、★はダウンロード件数、△はページビュー数、▲は利用申込者数を示す。
- (3) 表中の「—」は、当該年度が利用(統計計上)開始前または利用提供終了(提供方法変更)後であること、または別の統計に含まれていることを示す。

注2 各データベースに係る注記

- 4 Business Archives Online は、2014年4月から有価証券報告書を含む。
- 6 CiNii は、CiNii Articles のみの利用統計から、2014年4月からのプラットフォームの変更に伴い検索回数からダウンロード件数へ計数の方法が変更になった。2014年4月からサイト上での論文提供サービスを終了した。
- 13 2014年以降の統計は58に含まれる。
- 19 ゴールドスマス・クレス画文庫所蔵社会科学系学術図書データベース(MOMW I)は、2014年4月以降、The Making of the Modern World, Part II :1851-1914 (MOMW II) を含む。2015年からプラットフォームの変更に伴い検索回数からダウンロード件数へ計数の方法が変更になった。
- 21 HeinOnline は、World Constitutions Illustrated, U.S.Federal Agency Documents, Decisions, and Appeals, History of International Law を含む。
- 24・25 18th Century, 19 & 20th Century House of Commons Parliamentary Papers (HCPP) は、2014年4月からプラットフォームの変更に伴い検索回数からダウンロード件数へ計数の方法が変更になった。
- 30 2014年以降の統計は58に含まれる。
- 32 ジャパンナレッジは、2015年から計数方法を Counter 形式に改め、ログイン回数から検索回数に計数の方法が変更になった。
- 36 Journal Citation Reports は、2014年4月からのプラットフォーム変更(JCR から Incites へ)に伴い4月から12月の利用統計が計数されていない。なお、2015年は Visit 数を計数している。
- 37 JURIS Online の統計値には、文書取出件数(文書<全文・要約・抄録等>の閲覧件数)を計上している。
- 47 2017年4月に Lexis.com は、Lexis Advance にバージョンアップした。
- 49 毎索は、2014年から2015年3月までの計数方法は、検索ログ件数である。
- 51 2014年以降の統計は58に含まれる。
- 52 Mpac は、2014年から計数の方法がアクセス総数から検索回数に変更になった。
- 58 ProQuest Basic Search には、ERIC, LISA, LLBA, Worldwide Political Science Abstracts, Sociological Abstracts, PILOTS, Social Services Abstracts, Entertainment Industry Magazine Archive, International Index to Music Periodicals (IIMP), MLA International Bibliography, PsycARTICLES (2015年3月まで)、2006年4月からは PsycINFO (2015年3月まで)が含まれる。また、2012年10月からは ProQuest Dissertations & Theses Full Text (2014年4月から ProQuest Dissertations & Theses Global に変更)、2014年4月からは ProQuest Historical Annual Reports が含まれる。2014年4月から計数の方法が変更になり、統計値には ProQuest が提供する ProQuest Congressional も含まれるようになった。
- 60・61 PsycARTICLES, PsycINFO は提供プラットフォームの変更により2015年4月から計数できるようになった。
- 68 Web of Knowledge は、2014年1月から Web of Science に統合された。

j キャンパス間相互利用件数（予約取寄せ）

		提供冊数（受付館）				
		総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	合計
受入冊数 （依頼館）	総合図書館		1,600	855	1,811	4,266
	高槻キャンパス図書館	929		95	111	1,135
	ミューズ大学図書館	1,739	280		256	2,275
	堺キャンパス図書館	627	125	86		838
	合計	3,295	2,005	1,036	2,178	

k 利用者用パソコン設置台数

総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	合計
137	9	10	16	172

(3) 蔵書に関する統計

① 収書状況

a 図書資料の所蔵数（2017年度末現在）

区分	種別	図書の冊数（冊）		定期刊行物の種類数		視聴覚資料の所蔵数 （点数）	電子ジャーナルの種類 （点数）
		図書の冊数	開架図書の冊数 （内数）	内国書	外国書		
総合図書館		2,163,705	231,413	15,095 (2,177)	8,791 (888)	122,578	15,131
高槻キャンパス図書館		55,283	55,283	271 (165)	244 (59)	457	—
ミューズ大学図書館		45,161	45,161	409 (146)	72 (18)	210	—
堺キャンパス図書館		47,415	47,415	179 (154)	44 (23)	134	—
法学部資料室		31,882	31,882	1,008 (390)	50 (15)	82	—
経商資料室		32,366	32,366	876 (358)	228 (29)	0	—
社会学部資料室		41,185	41,185	844 (291)	67 (10)	132	—
視聴覚資料関係 （メディアライブラリー1・2）		0	0	0	0	19,110	—
法科大学院ロー・ライブラリー		14,634	14,634	129 (75)	1 (0)	0	—
会計専門職大学院図書資料室		1,247	1,247	10 (10)	0 (0)	0	—
東西学術研究所		18,489	0	634 (227)	144 (30)	118	—
経済・政治研究所		19,824	0	83 (83)	1 (1)	0	—
法学研究所		15,744	0	96 (96)	0 (0)	438	—
人権問題研究室		25,770	25,770	79 (79)	2 (2)	825	—
計		2,512,705	526,356	19,713 (4251)	9,644 (1075)	144,084	15,131

注1 図書の冊数には、製本した雑誌等逐次刊行物を含む。

注2 視聴覚資料は、マイクロフィルム、マイクロフィッシュが大半を占め、カセットテープ、ビデオテープおよびCD-ROM・DVD-ROM等を含み、図書の冊数の内数である。

注3 定期刊行物の種類数には電子ジャーナルの種類数は含んでいない。下段（ ）は内数で、継続して受け入れている種類数。

注4 電子ジャーナルの種類数は延べ数で、総合図書館で集中管理をしている。

b 過去5年間の図書の受入数 (単位：冊)

館	年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	総合図書館		31,706	23,407	17,329	21,730
高槻キャンパス図書館		1,942	983	1,395	1,501	1,672
ミューズ大学図書館		1,659	916	1,094	1,450	1,588
堺キャンパス図書館		6,540	1,208	1,484	1,896	1,998
計		41,847	26,514	21,302	26,577	30,627

注1 製本した雑誌等逐次刊行物を含む。

c 図書資料異動状況 (単位：点)

区分	種別	和書	洋書	マイクロ資料		その他	合計
				フィルム	フィッシュ		
取得内訳	購入	16,487	3,915	58	0	18	20,478
	受贈	924	150	0	0	0	1,074
	その他	6,082	1,866	72	0	1,055	9,075
	合計	23,493	5,931	130	0	1,073	30,627
除籍抹消		4,997	135	0	0	0	5,132
増減計		18,496	5,796	130	0	1,073	25,495
期末在高		1,365,231	819,465	95,640	24,149	7,079	2,311,564

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 「種別」の「その他」はAV資料、CD-ROM、DVD-ROM等の資料を含む。

d 雑誌・新聞受入種類数

区分	種別	雑誌・新聞		
		和	洋	合計
取得内訳	購入	1,603	918	2,521
	受贈	980	46	1,026
	その他	59	24	83
	合計	2,642	988	3,630

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

② 分類別所蔵図書冊数（日本十進分類法による）

分類	内 訳	和	洋	合 計
000	総 記	14,865	11,663	26,528
010	図書館	6,587	4,620	11,207
020	図書・書誌学	16,860	14,555	31,415
030	百科事典	3,537	3,978	7,515
040	一般論文・講演集	17,741	1,545	19,286
050	逐次刊行物・年鑑	22,819	7,889	30,708
060	学会・団体・調査機関	1,304	464	1,768
070	ジャーナリズム・新聞	16,776	7,385	24,161
080	叢書・全集	55,948	18,522	74,470
090	郷土資料	1,246	2,336	3,582
総記・計		157,683	72,957	230,640
100	哲 学	4,071	5,350	9,421
110	哲学各論	2,455	3,840	6,295
120	東洋思想	18,017	756	18,773
130	西洋哲学	7,615	19,679	27,294
140	心理学	13,239	15,769	29,008
150	倫理学	3,789	1,434	5,223
160	宗 教	5,717	4,131	9,848
170	神 道	2,596	54	2,650
180	仏 教	15,386	1,881	17,267
190	キリスト教	6,396	8,801	15,197
哲学・計		79,281	61,695	140,976
200	歴 史	6,455	10,817	17,272
210	日本史	51,712	1,207	52,919
220	アジア史・東洋史	31,512	5,085	36,597
230	ヨーロッパ史・西洋史	5,199	17,350	22,549
240	アフリカ史	322	1,560	1,882
250	北アメリカ史	729	2,760	3,489
260	南アメリカ史	94	91	185
270	オセアニア史	95	163	258
280	伝 記	21,640	7,074	28,714
290	地理・地誌・紀行	29,716	6,704	36,420
歴史・計		147,474	52,811	200,285
300	社会科学	13,127	8,190	21,317
310	政 治	40,483	48,618	89,101
320	法 律	61,443	87,849	149,292
330	経 済	88,468	95,424	183,892
340	財 政	7,790	6,745	14,535
350	統 計	9,224	5,771	14,995
360	社 会	61,740	52,482	114,222
370	教 育	47,289	13,776	61,065
380	風俗習慣・民俗学	17,260	4,379	21,639
390	国防・軍事	3,789	1,413	5,202
社会科学・計		350,613	324,647	675,260
400	自然科学	7,545	8,900	16,445
410	数 学	9,916	15,192	25,108
420	物理学	5,927	16,413	22,340
430	化 学	6,375	15,509	21,884
440	天文学・宇宙科学	2,322	1,052	3,374
450	地球科学・地学・地質学	7,154	4,503	11,657
460	生物科学・一般生物学	6,290	9,132	15,422
470	植物学	1,196	229	1,425
480	動物学	2,227	484	2,711
490	医学・薬学	24,091	10,775	34,866
自然科学・計		73,043	82,189	155,232
500	技術・工学・工業	15,700	22,711	38,411
510	建設工学・土木工学	18,635	12,192	30,827
520	建築学	15,682	6,420	22,102
530	機械工学・原子力工学	10,350	9,048	19,398
540	電気工学・電子工学	23,214	18,454	41,668
550	海洋工学・船舶工学・兵器	1,488	379	1,867
560	金属工学・鉱山工学	5,764	6,634	12,398
570	化学工業	7,059	7,279	14,338
580	製造工業	4,548	1,541	6,089
590	家政学・生活科学	1,838	416	2,254
技術・計		104,278	85,074	189,352

分類	内 訳	和	洋	合 計
600	産 業	5,333	399	5,732
610	農 業	12,406	4,420	16,826
620	園芸・造園	1,232	221	1,453
630	蚕糸業	228	1	229
640	畜産業・獣医学	954	149	1,103
650	林 業	1,394	237	1,631
660	水産業	1,758	277	2,035
670	商 業	17,175	14,617	31,792
680	運輸・交通	9,322	7,062	16,384
690	通信事業	3,457	2,422	5,879
産業・計		53,259	29,805	83,064
700	芸 術	13,856	6,570	20,426
710	彫 刻	979	300	1,279
720	絵画・書道	17,667	3,936	21,603
730	版 画	834	371	1,205
740	写真・印刷	2,056	507	2,563
750	工 芸	4,253	1,372	5,625
760	音楽・舞踏	6,623	1,638	8,261
770	演劇・映画	14,481	3,524	18,005
780	スポーツ・体育	9,679	2,986	12,665
790	諸芸・娯楽	1,737	228	1,965
芸術・計		72,165	21,432	93,597
800	言 語	4,822	15,136	19,958
810	日本語	11,058	293	11,351
820	中国語・東洋の諸言語	9,435	1,087	10,522
830	英 語	6,639	8,862	15,501
840	ドイツ語	1,095	4,425	5,520
850	フランス語	1,069	3,120	4,189
860	スペイン語	478	553	1,031
870	イタリア語	139	405	544
880	ロシア語	393	1,346	1,739
890	その他の諸言語	408	935	1,343
言語・計		35,536	36,162	71,698
900	文 学	12,409	11,086	23,495
910	日本文学	99,564	1,614	101,178
920	中国文学・東洋文学	29,041	798	29,839
930	英米文学	8,562	24,990	33,552
940	ドイツ文学	3,352	13,500	16,852
950	フランス文学	4,618	12,660	17,278
960	スペイン文学	1,575	10,809	12,384
970	イタリア文学	490	567	1,057
980	ロシア文学	1,885	3,190	5,075
990	その他の諸文学	505	1,434	1,939
文学・計		162,001	80,648	242,649
合 計		1,235,333	847,420	2,082,753
その他				228,811
図書館蔵書数				2,311,564

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 2014年度にミュズ大学図書館および堺キャンパス図書館の資料の移管を受けた。

注3 「その他」は、個人文庫などの未分類図書を表す。

③ 分類別所蔵雑誌種類数（日本十進分類法による）

分類	内 訳	和	洋	合 計
000	総 記	4,760	974	5,734
100	哲 学	485	524	1,009
200	歴 史	842	337	1,179
300	社会科学	4,008	3,528	7,536
400	自然科学	744	934	1,678
500	技 術	1,715	1,611	3,326
600	産 業	681	358	1,039
700	芸 術	815	168	983
800	言 語	262	267	529
900	文 学	1,630	449	2,079
その他		12	1	13
合計		15,954	9,151	25,105

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 2014年度にミュズ大学図書館および堺キャンパス図書館の資料の移管を受けた。

注3 重複するタイトルは、カウントしていない。

④ 図書費執行額5年間の推移

(単位：円)

		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
図書	和	89,904,697	88,473,660	61,906,256	90,865,375	86,294,134
	洋	87,409,825	96,161,156	55,116,434	81,407,431	79,951,962
雑誌	和	25,009,110	31,078,072	36,374,648	30,454,818	29,520,048
	洋	241,258,144	295,852,763	334,227,263	365,449,403	330,814,027
電子媒体		61,616,606	2,891,499	5,259,807	629,996	3,420,619
マイクロ資料	和	4,269,195	3,696,387	1,213,056	629,856	1,797,336
	洋	21,555,775	491,326	0	833,902	373,554
その他の資料		25,082,713	24,023,571	43,495,542	14,256,315	18,258,932
外部データベース		77,430,343	103,340,427	103,823,214	93,344,220	93,257,202
合計		640,909,387	646,008,861	641,416,220	677,871,316	643,687,814
製本費		7,441,140	8,114,010	5,610,075	8,853,744	7,602,663

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 「電子媒体」はCD-ROM、DVD-ROM等を含む。

注3 「その他の資料」には、追録、AV資料を含む。

注4 2013年度以降は、ミューズ大学図書館及び堺キャンパス図書館の図書費執行額を含む。

(4) その他関連統計等

① 過去5年間の図書館職員

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
専任職員 〔人数〕	21 (11)	21 (11)	21 (11)	21 (11)	19 (10)
定時職員 〔総勤務時間〕	10,754	13,922	11,680	11,680	11,680
備考	収書担当業務に2名の「派遣職員」を採用。	収書担当業務に2名の「派遣職員」を採用。	収書担当業務に2名、サービス担当業務に2名、計4名の「派遣職員」を採用。	収書担当業務に2名、サービス担当業務に3名、システム担当業務に1名、計6名の「派遣職員」を採用。	収書担当業務に2名、サービス担当業務に3名、システム担当業務に1名、計6名の「派遣職員」を採用。

注1 専任職員の()は内数で、女子の人数を示す。

注2 定時職員は各人の勤務時間数が異なり、人数での比較が困難なため総予算時間数を記載した。

② 学生の閲覧座席数(2018年4月1日現在)

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合 A/B*100 (%)	その他の学習 室の座席数	備考 【学生収容定員内訳】
総合図書館	2,260	23,487	9.62	—	(千里山キャンパス) ① 学部 21,668名 ② 大学院 1,819名
高槻キャンパス図書館	235	2,274	10.33	—	(高槻キャンパス) ① 学部 2,090名 ② 大学院 184名
ミューズ大学図書館	134	1,145	11.70	—	(高槻ミューズキャンパス) ① 学部 1,100名 ② 大学院 45名
堺キャンパス図書館	272	1,349	20.16	—	(堺キャンパス) ① 学部 1,320名 ② 大学院 29名
計	2,901	28,255	10.27	—	① 学部 26,178名 ② 大学院 2,077名

③ 10年間の展示会テーマと会期

年 度		展示のテーマと講演会の演題	会 期
2008 年度	春季特別	「百珍って何？—今に引き継ぐ江戸の食文化—」	2008 年 4 月 1 日～5 月 18 日
	特別企画展	「内藤湖南—近代日本の知の巨匠—」	2008 年 6 月 12 日～7 月 12 日
	秋季特別	「目で見ると江戸俳諧の真髄—芭蕉・蕪村、そして俳諧の美—」 記念講演会 「芭蕉と蕪村の「奥の細道」」	2008 年 10 月 27 日～12 月 13 日 2008 年 11 月 17 日
2009 年度	春季特別	「長谷川貞信—大阪の浮世絵師—」	2009 年 4 月 1 日～5 月 17 日
	秋季特別	「伊勢物語の世界」 記念講演会 「『伊勢物語』の成立と享受—展示品を中心に—」	2009 年 10 月 1 日～10 月 31 日 2009 年 10 月 20 日
2010 年度	特別展	「資料に描かれた象—渡来象を中心に—」	2010 年 4 月 1 日～5 月 16 日
2011 年度	特別展	「大坂文人・学者の世界—江戸時代を中心に—」	2011 年 4 月 1 日～5 月 15 日
	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「ヨーロッパのメガネ男子」	2011 年 5 月 20 日(金)～6 月 3 日(金)
2012 年度	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「LOVE LETTER from Europe」	2012 年 5 月 28 日(月)～6 月 11 日(月) (6 月 5 日(火)除く)
2013 年度	特別展	「なにわユーモア画譜」展特別企画としての「プレ展覧会 春爛漫コレクション」	2013 年 4 月 1 日(月)～4 月 8 日(月)
		大正葵丑蘭亭会百周年（おおさか）記念行事	2013 年 4 月 1 日(月)～5 月 19 日(日) (総合図書館第一会議室及び展示室)
	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「EU 諸国の言語に翻訳された日本の小説」	2013 年 6 月 3 日(月)～6 月 14 日(金)
2014 年度	図書館・博物館 連携企画展	関西大学名品万華鏡 —館館選イチョン！— (於：関西大学博物館)	2014 年 4 月 1 日(火)～5 月 18 日(日)
	関西大学図書館 創設 100 周年 記念展示	関西大学図書館 100 年のあゆみ展	2014 年 4 月 1 日(火)～5 月 18 日(日)
	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「アナザー・ワールド」	2014 年 6 月 30 日(月)～7 月 14 日(月)
	関西大学創立 130 周年記念 展示	科学と芸術—著名院士学者書法展—	2015 年 3 月 27 日(金)～4 月 23 日(木)
2015 年度	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「EU の Multilingualism」	2015 年 5 月 8 日(金)～5 月 24 日(日)
2016 年度	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「ヨーロッパのカフェと文学」	2016 年 5 月 12 日(木)～5 月 26 日(木)
2017 年度	実施せず		

注 1 展示会のうち場所を示していない場合は、総合図書館展示室において開催した。講演会はすべて総合図書館のホールで行っている。

④ 資料の出陳・放映(学外からの依頼分)

依頼機関	展示会・番組等の名称	会期・放映日	掲載・借用依頼資料	請求記号
西宮市大谷記念美術館	「西宮の狩野派 勝部如春斎」	2017年4月1日～ 5月7日	松鶴図 布袋 [図] 富士画 靈照女図 新撰和漢書畫一覽 新撰和漢書画一覽	C2*721.4*Y1*2 C2*721.4*Y1*3 C2*721.4*Y2*1 C2*721.4*Y3*1 L24**21-825 L21**4*2337
吹田市立博物館	「田能村竹田展 なにわ・吹田を愛した文人画家」	2017年4月29日～ 6月4日	竹田莊詩話 填詞図譜 2巻 巻上 填詞図譜 2巻 巻下 自畫題語 4巻 巻之1 自畫題語 4巻 巻之2 自畫題語 4巻 巻之3 自畫題語 4巻 巻之4 春嶽畫山陽題詩紙本横幅 米法山水図巻 塞馬録圖巻 山居溪閣図	L23**900*392 L23**D*1810 L23**D*1811 L24**1-765*1 L24**1-765*2 L24**1-765*3 L24**1-765*4 C2*721.7*K3*2 N8C2*721.7*1 C2*721.7*F3*1 C2*721.7*N1*1
あべのハルカス美術館 鳥根県立石見美術館 千葉市美術館	「没後70年 北野恒富展」	2017年6月6日～ 7月17日 2017年8月5日～ 9月18日 2017年11月3日～ 12月17日	浴後 花の夜 慶長美人 新錦繪帖 浮世繪の顔	C2*721.9*K1*2 C2*721.9*K1*3 C2*721.9*K1*4 LO2*K*28*2
山口県立萩美術館・浦上記念館	「プリティ♡プリント 江戸の花鳥版画展」	2017年9月16日～ 10月22日	運筆皴画, 3巻 運筆皴画, 3巻 運筆皴画, 3巻 押繪手鑑 1巻 押繪手鑑 2巻 押繪手鑑 3巻 明朝紫硯 明朝紫硯 明朝紫硯 花鳥寫真圖會, 初編 3巻, 2編 3巻 花鳥寫真圖會, 初編 3巻, 2編 3巻 畫本鶯宿梅, 7巻 巻之4 畫本鶯宿梅, 7巻 巻之5	*721.8*T12*4-1 *721.8*T12*4-2 *721.8*T12*4-3 *594.6*O69*1-1 *594.6*O69*1-2 *594.6*O69*1-3 *721.4*O2*1-1 *721.4*O2*1-2 *721.4*O2*1-3 *721.8*K10*6-1-1 *721.8*K10*6-1-2 *721.8*K10*6-1-3 *721.8*K10*6-2-1 *721.8*K10*6-2-2 *721.8*K10*6-2-3 *721.8*T12*2-4 *721.8*T12*2-5
龍谷大学龍谷ミュージアム	「地獄絵ワンダーランド」	2017年9月23日～ 11月12日	別世界巻 一百三升芋地獄 一百三升芋地獄 稲妻表紙後編本朝醉菩提 8巻序目 1巻 品目釋義 稲妻表紙後編本朝醉菩提 8巻序目 1巻 巻之5 小野篁地獄往来 狂伝和尚廊中法語九替十年色地獄	C2*721.8*M1*4 *913.64*S2*52-1 *913.64*S2*52-2 L24**5-273*0 L24**5-273*5 *913.64*S2*14A *913.64*S2*70
大阪狭山市教育委員会	「行基伝承 —受け継がれた記憶—」	2017年9月30日～ 10月29日	續日本紀, 40巻 巻第7-8 續日本紀, 40巻 巻第11-12 續日本紀, 40巻 巻第15-16 續日本紀, 40巻 巻第17-18 續日本紀, 40巻 巻第31-32 河内名所圖會 和泉名所圖會 河内鑑名所記, 6巻	LH2*2.02**40-4 LH2*2.02**40-6 LH2*2.02**40-8 LH2*2.02**40-9 LH2*2.02**40-16 LH2*2.06**43-4 LH2*2.06**44-2 LI2*291.6302*M1*1-2

依頼機関	展示会・番組等の名称	会期・放映日	掲載・借用依頼資料	請求記号
堺市役所広報課	ケーブルテレビJ:COMチャンネル「堺シティレポ」	2017年10月7日～10月13日	婦人画報（1912年4月）	M*051*F7
徳島県立博物館	「江戸幕府と徳島藩—幕藩制改革からみる江戸時代—」	2017年10月14日～11月19日	[徳川家康書状] [徳川吉宗御内書] [象之繪巻] 享保十四己酉年四月交趾国象上京之次第記 [象のかわら版] 草茅危言, 5巻1 草茅危言, 5巻2 草茅危言, 5巻3 草茅危言, 5巻4 草茅危言, 5巻5 [上方絵師初代長谷川貞信版画コレクション] 大岡忠相政要實録 10巻 政談 4巻 巻1 政談 4巻 巻2 政談 4巻 巻3 政談 4巻 巻4 武家官位略記御昇進之次第 御撰大坂記, 巻1-4 御撰大坂記, 巻5-8 御撰大坂記, 巻9-12 御撰大坂記, 巻13-16 御撰大坂記, 巻17-19 花月草紙 1巻 花月草紙 2巻 花月草紙 3巻 花月草紙 4巻 花月草紙 5巻 花月草紙 6巻 集古十種 [1] 集古十種 [85] 凶荒図録 檄文 万代鑑	C*210.09*T4*1 C*210.09*T8*1 C*721.8*Z1*1 C2*210.56*K1*1 C2*489.7**1 C*121.463**1-1 C*121.463**1-2 C*121.463**1-3 C*121.463**1-4 C*121.463**1-5 N8C2*721.8*17*1-27 L24**14-124 L24**1-696*1 L24**1-696*2 L24**1-696*3 L24**1-696*4 L23**200*7553 L22*210**1052 L22*210**1053 L22*210**1054 L22*210**1055 L22*210**1056 *914.5*M6*1-1 *914.5*M6*1-2 *914.5*M6*1-3 *914.5*M6*1-4 *914.5*M6*1-5 *914.5*M6*1-6 LH2*5**1-1 LH2*5**1-85 E*611.39*O17*1 WAS*210.57*O1*1 L22*210**1163
大阪商業大学商業史博物館	「なにわ風情を満喫しませう—大坂四条派の系譜—」	2017年10月24日～11月25日	納涼美人図 秋江漁舟図 養蚕図 親子竹筍図 完瑛画譜 [西山完瑛画帳]	C2*721.6*N4*3 N8C2*721.6*10 C2*721.6*N4*1 C2*721.6*N3*2 *721.6*N2*1(M) N8*721.6*4
堺アルフォンス・ミュシャ館	「図案のすすめ ミュシャとデザイン」	2017年11月15日～2018年3月11日	中學世界 7巻2号 中學世界 8巻1号 中學世界 9巻7号 中學世界 15巻7号 方寸 4巻7号 方寸 2巻2号 ほととぎす 4巻1号復刻版 虞美人草	M*051*C16 M*051*C16 M*051*C16 M*051*C16 M*705*H4 M*705*H4 M*911.4*H2(N) *913.7*N4*12
高松市歴史資料館	「花鳥画の系譜 東溪と南蘋派」	2018年1月27日～3月18日	米法山水図 花蝶之図 隼攫雄鳧圖 芭蕉図 虎ノ図 蘭齋画譜 蘭部巻1 蘭齋画譜 蘭部巻2 蘭齋画譜 蘭部巻3 蘭齋画譜 蘭部巻4 蘭齋画譜 竹部巻1 蘭齋画譜 竹部巻2 蘭齋画譜 竹部巻3 蘭齋画譜 竹部巻4	C2*721.7*K1*2 N8C2*721.7*5 C2*721.6*O1*1 C2*721.6*K2*2 C2*721.4*M1*1 N8*724.1*4*1 N8*724.1*4*2 N8*724.1*4*3 N8*724.1*4*4 N8*724.1*4*5 N8*724.1*4*6 N8*724.1*4*7 N8*724.1*4*8

2 2017年度 図書館自己点検・評価委員会名簿

	氏 名	備 考
規程第5条1号委員	新 井 泰 彦	委員長・図書館長
規程第5条2号委員	広 瀬 義 徳	図書委員会委員（文学部選出）
	西 川 知 亨	図書委員会委員（人間健康学部選出）
	元 吉 忠 寛	図書委員会委員（社会安全学部選出）
	竹 中 俊 英	図書委員会委員（化学生命工学部選出）
規程第5条3号委員	山 崎 秀 樹	学術情報事務局長
規程第5条4号委員		
規程第5条5号委員	坂 本 翼	図書館事務室
	古 林 雅 代	図書館事務室
	畠 山 勝 代	図書館事務室

【事務局（図書館事務室）】 畠山 勝代

3 関西大学図書館

自己点検・評価委員会規程

制定 平成6年1月28日

(趣旨)

第1条 この規程は、関西大学図書館規程第7条第2項の規定に基づき、関西大学図書館自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(任務)

第2条 委員会は、図書館における教育研究の支援活動及び管理運営の自己点検・評価の取り組みを行うため、次の事項を行う。

- (1) 自己点検・評価の方針の策定並びに点検項目の設定及び変更
- (2) データの収集、分析及び検討
- (3) 報告書の作成
- (4) その他自己点検・評価及び第三者評価に関する事項

(各機関の協力)

第3条 委員会は、前条第2号に規定するデータ収集のため、それに係わる各機関に対して協力を求めることができる。

(報告)

第4条 委員会は、自己点検・評価の結果を図書館長に報告し、図書委員会の議を経て公表することができる。

(構成)

第5条 委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 図書館長
 - (2) 図書委員のうちから図書館長が指名する者若干名
 - (3) 学術情報事務局長
 - (4) 学術情報事務局次長（図書館担当）
 - (5) 図書館事務職員から若干名
- 2 図書館長が必要と認めた場合、2名以内に限り、図書委員会の議を経て大学内外の有識者に委員を委嘱することができる。

(委員長等)

第6条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は図書館長をもって充てる。副委員長は委員の中から委員長が指名する。
- 3 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。

(委員の任期)

第7条 第5条第2号及び第5号に規定する委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の委員に欠員が生じたときは、補充しなければならない。この場合において、後任者の任期は前任者の残任期間とする。

(運営)

第8条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席委員の過半数の同意をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。

- 3 委員会は、必要に応じて、委員以外の者に出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、図書館事務室が行う。

附 則

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成13年10月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程（改正）は、平成15年4月1日から施行する。

- 2 この規程（改正）施行後最初に第5条第3号及び第4号の規定により選出された委員の任期は、第7条第1項本文の規定にかかわらず平成16年3月31日までとする。

附 則

この規程（改正）は、平成18年10月12日から施行し、平成18年8月1日から適用する。

附 則

この規程（改正）は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成26年4月1日から施行する。

平成29年度 大学図書館近畿イニシアティブ

「中級研修」に参加して

古 林 雅 代

1 はじめに

大学図書館近畿イニシアティブ（近畿イニシア）とは、近畿地区にこれまでなかった国立・公立・私立の大学図書館を網羅した協力組織として、2005年6月に発足した大学図書館の地域共同事業組織のことである。当初、国立大学図書館協会近畿地区協会、公立大学協会図書館協議会近畿地区協議会、私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会および同阪神地区協議会の4団体が、設置形態の違いを超えて共同で事業等を実施するために設立し、2009年6月には私立短期大学図書館協議会近畿地区協議会が加盟し、関係大学は170校に上っている。

このたび、近畿イニシア主催の中級研修に参加する機会を得たので、講義内容を中心に以下のとおり報告する。

■実施概要

日 時：2017年5月26日(金) 10:00～17:15

会 場：大阪芸術大学スカイキャンパス

テーマ：誰もが利用できる大学図書館を目指して
—「合理的配慮」の考え方と実践—

2 研修会内容

(1) 講 義

講 師：野口 武悟 氏

(専修大学文学部・大学院法学研究科教授)

① 背 景

大学を取り巻く社会情勢、利用者を取り巻く情報環境が変化するなか、大学図書館にはこうした変化に対応し続けていくことが求められている。その一つに、2016年4月の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)の施行に伴って、障害者(障害のある学生)に対する「合理的配慮」の提供が、国公立大学には義務、私立大学には努力義務になったことがある。

今般の「合理的配慮」の提供に至る経緯、歴史的

背景について簡単に触れておきたい。今日の社会政策の基本理念の一つにノーマライゼーション(normalization)がある。ノーマライゼーションは、1960年代にデンマークの社会運動家バンク・ミケルセン(Bank-Mikkelsen, N. E.)らが提唱したもので、「障害をもつ人びとが特別のケアを受ける権利を享有しつつ、個人の生活においても社会の中での活動においても、可能な限り通常の仕方でのその能力を発揮し、それを通して社会の発展に貢献する道をひらく」ということであり、「障害を持つひとを他の市民と対等・平等に存在させる社会こそノーマルな社会であるという思想」である。国連により「完全参加と平等」をスローガンに1981年に制定された「国際障害者年」以降、日本を含む多くの国々でノーマライゼーションは認知度を高め、様々な政策に取り入れられていった。

ノーマライゼーションを実現するためには、まず障害者の障害を個人的な問題のみにとどめる捉え方から、社会の側のバリアへと捉え方の転換を図る必要がある。そうすることで、個人にどんな障害があっても社会の側のバリアが取り除かれれば、他の人びとと対等・平等に社会参加できるようになる可能性が高まるからである。図書館における「障害者サービス」(“図書館利用に障害のある人々へのサービス”)も、ここに位置づけることができる。つまり、図書館利用上の障害は、図書館側にあるという捉え方である。主な実践的方法論として、バリアフリーやユニバーサルデザインという用語が頻繁に使われるようになり、社会全般に広まっていくこととなる。

2000年代に入り、2006年12月に国連総会で採択された「障害者の権利に関する条約」(日本政府は2014年1月に批准)は、ノーマライゼーションの実現を強力に後押しすることとなった。日本政府は、条約批准に向けた国内法整備として、2013年6月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)を制定(2016年4月施行)したほか、障害者基本法をはじめとする既存法令の改

正などの対応をとってきた。

② 「合理的配慮」とは何か

「障害者の権利に関する条約」では、障害に基づくあらゆる差別の禁止と障害者への「合理的配慮」の提供などが規定され、以下のように定義づけられている。

「合理的配慮」とは、「障害者が他の者との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないものをいう」（同条約第2条）。わかりやすくいえば、障害者一人ひとりのニーズをもとに、状況に応じた変更や調整を、体制や費用などの負担がかかりすぎない範囲（＝合理的な範囲）において行うことといえる。2016年4月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」では、図書館を含む行政機関等には障害者に対する「合理的配慮」の提供を義務づけている。合理的に考えてできるにもかかわらず、配慮を行わなかった場合、「合理的配慮」の提供義務違反ということになりかねない。

③ 図書館における「合理的配慮」について

図書館において、障害者のニーズに応じた直接サービスである「合理的配慮」を的確に提供できるようになるためには、間接サービスである「基礎的環境整備」を同時に進めなければならない。日本図書館協会では、2016年3月に「図書館における障害を理由とする差別の解消の推進に関するガイドライン」を公表し、図書館で提供すべき「合理的配慮」と、取り組むべき「基礎的環境整備」について具体的に示している。

○「合理的配慮」の考え方（日本図書館協会ガイドラインより抜粋）

図書館利用上の差別（社会的障壁）を除去する方法として合理的配慮の提供がある。そして、合理的配慮の提供が可能であれば、必ず提供しなければならない。

合理的配慮とは、利用者からの依頼により、サービスやルールの必要かつ適当な変更及び調整を行うことで図書館の利用を保障しようとするものである。また、それは過度な負担でないこととされている。

ただし、依頼そのものを出せない・出しにくい障害者もいることから、家族等関係者からの依頼にも応じることや、依頼がなくても積極的に合理的配慮を検討すること等、柔軟な対応が必要である。

合理的配慮は、個々の障害者の状況（年齢・性別・障害等）を考え、また、図書館の状況（人員・予算等）を踏まえ、合理的に考えて提供しうる方法で行うものである。

利用者からの依頼どおりに合理的配慮を提供することが難しい場合、代替方法を検討する等、何らかの方法で図書館利用が保障できるように工夫する。また、過度な負担であると判断される場合も、利用者と前向きに対話を行い、代替方法を検討する。

合理的配慮の提供に当たっては、その依頼が本来の図書館業務に沿ったものであるかどうか留意し、図書館事業の目的・内容・機能の本質的な変更には及ばないことに注意する。なお、合理的配慮は職員が直接提供するものであるが、個人の責任で提供するものではなく、図書館の組織として判断・対応する。

○「過度な負担」の考え方（日本図書館協会ガイドラインより抜粋）

過度な負担に当たるかどうかは、以下の要素を参考に、利用者の状況や図書館の状況により、個別に客観的に判断する。過度な負担と判断した場合は、その理由を利用者に説明して理解を求める。

なお、判断においては、具体的な検討をせずに過度な負担を拡大解釈する等して、法の趣旨を損なうことがあってはならない。また予算人員については、図書館単独の予算だけではなく地方公共団体の規模等も考慮し判断する。

- 事務・事業への影響の程度
- 実現可能性の程度
- 費用・負担の程度
- 財政・財務状況

○図書館における合理的配慮の例

提供すべき合理的配慮は状況に応じて個別に判断するものであり、全ての場合においてここに挙げる配慮が必ずしも提供できるとは限らない。あくまで参考例である。

- 来館、移動支援（近くの駅・バス停からの送迎、館内の移動補助、車いすの介助等）
- 物理的環境への配慮（段差・階段で車いすを持

ち上げる、高い書棚にある資料を取って渡す、通路の障害物を取り除く、施設設備の簡易な改修等)

- 意思疎通の配慮 (手話、点字、音声・拡大文字、筆談、実物の展示、身振りサイン等による合図、触覚による意思伝達等)
- 館内設備の使用補助 (館内利用端末、視聴ブース、コピー機等)
- ルールの変更 (貸出期間の延長、貸出点数の緩和、利用登録方法の拡大、戸籍名以外の公に用いている氏名の使用等)
- サービスそのものの利用支援 (登録申込書の代筆、内容や目次等簡易な読み上げ、代行検索、自宅に向いての貸出等)
- 催しへの配慮 (多様な申し込み方法、座席の事前確保、配布資料の拡大・音訳・点訳・データでの提供、手話通訳手配、筆記通訳手配等)
- 資料へのアクセスについての配慮 (障害者サービス用資料の購入、支援機器の購入等)

④ 大学における障害学生の現状

上述の合理的配慮の対象となる障害学生について、日本学生支援機構の調査によると、大学生 (短大・高専含む) のうち、障害のある学生は2016年度2.7万人で、全学生の0.86%を占めている。5年ごとに実施される当調査の推移を見ると、2006年度:0.5万人 (0.162%)、2011年度:1.0万人 (0.32%) で、2006年度からの5年間で倍増し、2011年度からの5年間で2.7倍に増加していることがわかる。

また、障害のある児童・生徒について、文部科学省の調査では以下のとおりとなっている。

- 義務教育段階の全児童生徒数:1,019万人
- 障害のある児童・生徒:3.33% (約34万人)
- *特別支援学校:0.67% (約6万9千人)
- *小学校・中学校
 - 特別支援学級:1.84% (約18万7千人)
 - 通常の学級:0.82% (約8万4千人)

障害のある児童・生徒で、通常の学級に通っている約8万4千人のうち、発達障害 (LD、ADHD、高機能自閉症等) の可能性のある児童生徒の在籍率は6.5%程度であると捉えられている。発達障害など、気づかれにくい (= 配慮が後回しになりがち) な障害者が多数存在しており、こうした児童・生徒の進学に伴い、大学での対応・対策が急務となっている。

また現在、発達障害を持つ人たちは全国に約700

万人 (疑いがある人も含めて) とも言われており、その対応が社会的な課題となっている。

⑤ 大学図書館における「合理的配慮」の実践

合理的配慮に関して、先進的な取り組みを行っている主な大学図書館についての事例紹介があった。

○筑波技術大学

わが国で唯一、聴覚障害者と視覚障害者のための高等教育機関として1987年に創設された国立大学であり、在籍学生数は365名 (大学HPより)。聴覚障害系図書館、視覚障害系図書館を有しており、それぞれスクリーンリーダー付パソコンや手話通訳者の配備など、ハード面・ソフト面での利用者サービスが充実している。

○北海道大学附属図書館

図書館資料のデジタル化に力を入れている。データ化の作業は学生アルバイトが担っており、和書:1冊あたり28,000円、洋書:1冊あたり26,000円である。

○立命館大学図書館

4キャンパスに7館を置き、障害のある学生・教職員を対象に、図書館の円滑な利用のために3種のサービス①障害学生支援機器 (情報保障機器) の設置、②複写補助、③図書館資料のデータ化を実施している。また、7館のうち4館にUAR (Universal Access Room) を設置している。

「合理的配慮」の実践におけるポイントは概ね以下のとおりである。

- 基礎的環境整備
施設、設備、職員研修、情報共有など
- 「著作権法」第37条第3項にもとづく複製
- 学内の障害学生支援部署との連携・協力
- 他館との連携・協力
国立国会図書館が提供する、「視覚障害者等用データの収集および送信サービス」の活用など

(2) グループワーク

テーマ:大学図書館のマネジメントやサービス提供に障害学生への対応をどう位置づけ、取り組んでいくか

- ①現時点で参加者の所属館で取り組んでいる「合理的配慮」の内容について
- ②参加者の所属館として「合理的配慮」を提供する際の悩みや課題について

③障害学生から図書館に寄せられる要望について等

上記のテーマについて、研修参加者が5名ずつ8グループに分かれてディスカッションを行い、グループとしてのまとめを行った。私のグループでは、日常的に直面している問題や課題、取り組み等について活発な情報交換・意見交換を行ったが、メンバーの所属館の規模が違い過ぎていた点がやや残念であった。

3 おわりに

研修のまとめとして、講師の野口先生から以下のようなメッセージをいただいた。

- 合理的配慮に関しては実態調査さえ実施されていないのが現状であり、まずは大学図書館での実践事例の蓄積と情報の共有化から取り組んでいかなければならない段階である。
- 利用者から、いつ要望が出されても対処できるような環境作りを心がけておくことが重要である。ただし、あくまで負担のない範囲でできることから実績を作り、長期的に取り組む姿勢で臨んでいただきたい。
- 障害を持つ利用者のうち、気づきにくい障害（発達障害等）を抱える人たちが多数存在するという現状は、今後、大学図書館にとっての大きな課題となる点を理解しておく必要がある。

最後に、本学図書館において2017年度に実施した「合理的配慮」の取り組み事例を紹介しておきたい。

(1) 車いす利用者と介助者の入館方法について

車いすを利用する学部生とその介助者からの要望を受け、従来の入館方法について見直しを行い、「介助者は、本学図書館の利用資格がない場合でも、介助対象者の介助を目的として入館することができる」と要領を改定した。

(2) 総合図書館前階段への手すり設置について

手すりの設置（2017年8月末完成）に際しては、学生相談・支援センターの担当者及び手すりの利用を必要とする本学大学院生から聴き取り調査を行い、その際に得た助言・要望も踏まえ、特に以下の点に留意した。

- 図書館前階段付近でイベントが開催される際の、図書館利用者の動線を確保しつつ、安全性を高めること
- 手すりを握ることの可能な手が左右どちらか一方に限られる障害がある場合でも、利用に支障のないよう配慮すること

(写真：巻頭ページ「図書館サ・エ・ラ」に掲載)

以上

引用・参考文献

- 野口武悟・植村八潮 編著『図書館のアクセシビリティ：「合理的配慮」の提供へ向けて』樹村房、2016
- 日本図書館協会「図書館における障害を理由とする差別の解消の推進に関するガイドライン」（2016年3月）

(こばやし まさよ 図書館事務室)

今話題の公共図書館について図書館初心者が考えてみた

～大和市立図書館考～

北野正人

大和市立図書館（神奈川県大和市大和南1丁目8番1号）は、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場を有する文化複合施設「大和市文化創造拠点シリウス」（以下はシリウスと表記）の中核施設として、2016年11月に移転リニューアルされ、開館から257日目には、200万人をこえる来館者が訪れている。

2017年度から図書館事務室勤務を拝命し、これからの図書館のあり方を考えていく中で、ここまで来館者が訪れる公共図書館を調査してみたいという思いに至った。幸運なことに本学図書館の整理委託業務を株式会社図書館流通センターにお願いしており、シリオスの図書館部分の運営も同社が行っているご縁から、施設見学を行うとともに、来嶋実館長にインタビューを行うことができた。

以下、大和市立図書館について述べるが、大和市には、本館機能を担う大和市立図書館のほかに4カ所（つきみ野・林間・桜丘・渋谷）の学習センター図書室があるため、1. 概要(3)～(5)の値については、学習センター図書室を含めた「図書館全体」と大和市立図書館のみを記した「本館」に区分し明記している。また、2017年10月1日現在、年報がシリウス完成前の2015年度までしか刊行されていないため、その実績数を示すが、インタビューで確認できた情報については、※（但し、訪問・調査を行った2017年9月5日時点でのデータ）で記載する。

1 概要

(1) 立地

小田急江ノ島線、相鉄本線大和駅から徒歩3分の場所に位置し、東京、横浜どちらに行くにも利便性が高い。人口23万人の中都市であるが、ベッドタウンであることから子育て世代が多く、出生率も増加している。

(2) 蔵書数

図書館全体 525,746冊（うち本館 362,678冊）
※現状では、図書館全体で55万冊、本館で39万冊に達しているとのこと。

(3) 年間増加数

図書館全体 21,402冊（うち本館 15,399冊）
※行政からは、年間15,000冊を目途に本館の蔵書数を増やすよう要請があるとのこと。

(4) 貸出数

図書館全体 1,092,781冊
（うち本館 482,947冊）

(5) 業務別職員数

シリウスは、指定管理会社やまとみらいによって運営されている。やまとみらいは、株式会社ボーネルンド、横浜ビルシステム株式会社など6社からなるジョイントベンチャー（共同企業体）であり、図書館については、前述のとおり図書館流通センターが運営を担っている。2017年10月1日現在、本館には51名（うち司書資格保有者33名）が業務に従事しており、欠員が出ればその都度採用している。

(6) 収容座席数

847席（有料席含む）

(7) 図書館サービスの種類及び内容

① 貸出・返却

大和市に在住、在学、在勤もしくは相互利用協定を締結している市町村に在住していれば利用者登録が行える。貸出については、2週間で10冊まで可能であり、申し出（インターネットや電話でも可）により1回に限り、手続きをした日から2週間の延長ができる。なお、貸出、返却ともに機械で自動手続きとなる。

② 閲覧

シリウスは6階建ての建物となっており、そのうち1～5階が図書館部分である。しかし、建物内全てで本の閲覧が可能であり、演奏会などで利用する1階のメインホールや6階の生涯学習センターにも持ち出すことができる。書架に大きく番号が表示されており、OPACで検索した本を探す場合でも、視覚的に明瞭となるよう配慮されている。

③ 予約・リクエスト

予約については、図書館やインターネットのOPACを通じ可能である。予約本が届いた際は、専用のコーナーに予約資料が置かれ、予約照会機で確認し、自動貸出機にて貸出を行う。なお、有料となるが予約図書宅配サービスも行っている。

リクエストについては、他の自治体からの借受け、もしくは新規購入のうえ提供され、予約を含め一人15点まで可能である。

④ レファレンスサービス

5階が「調べて学ぶ」というコンセプトのフロアとなっており、レファレンス専門の図書館員が常駐することで、利用者の調べものをサポートしている。

2 特徴

施設、設備面の充実もさることながら、大和市立図書館の最大の特徴は「健康」に対する取組といえる。大和市は、健康を高齢者や病気によるものにとらえず、すべての世代が健康になるには、家にこもるのではなく、外に出歩くべきというコンセプトから、健康都市を標榜し、人、町、すべての政策に健康の視点を取り入れている。4階を「くつろぎながら本に親しむ健康図書館」と位置付け、幅広い世代に対し健康に注視した課題解決支援を行っている。

「健康コーナー」では、健康に関する図書を充実させ、市民の健康づくりや最新の医療情報に寄与するほか、様々な展示を行っている。来嶋館長へのインタビューによれば、住民の利便性を高めるべく本コーナーのみNDCを用いた分類を用いず、病気やテーマごとに独自の分類を行っているとのことである。特に闘病記については、タイトルだけでは病名が判別しづらいため、背ラベルの上に病名を記したシールを貼付する工夫がされている。

「健康テラス」では、健康をテーマとした講座を毎日開催し、「健康度見える化コーナー」では、利用者が体組成計等を自由に使用し、測定結果を踏まえ、

保健師に相談ができる。文化複合施設の利点を活かし、他機関と連携した課題解決支援が行われている

なお、同じフロアにティーンズコーナーも設けられており、一定の評価を得た漫画を揃え、シアターブースを充実させるなどしてヤングアダルトの来館を促している。

また、大和市は神奈川県内19市で合計特殊出生率が第1位であり、シリウスの3階を「思い切り学んで遊ぶこどもの国」と位置付け、多様な子育て支援を行っている。

「こども図書館」では、本を探し、取り出しやすいよう、こどもの発達に応じた書棚の高さが設定され、床もクッションフロアにすることで、安全面を配慮している。また、静かな環境で読書ができる「こども読書室」、紙芝居や読み聞かせが行える「おはなしの部屋」を設けている。

さらに子供の遊び場として、乳幼児が対象の「ちびっこ広場」、小学校2年生までが対象で、専門スタッフが指導する「げんきっこ広場（有料）」を設置している。加えて育児や子育ての悩みを保育士に常時相談できる「相談室」を設けることで、子育て環境の充実、課題解決支援に取り組んでいる。

3 意見

「健康」と「子育て」という社会的に重要な課題に対し、文化複合施設の強みを活かした横断的なサービスを展開しているが、地域の課題を踏まえた二つの新たなサービスについて意見を提示したい。

まず「地域産業への支援」を挙げる。大和市は介護、医療や災害対応に役立てるため、生活支援ロボットの実用化、普及を進める「さがみロボット産業特区」に加入している。

本館では、ペッパー（人型ロボット）が来館対応を担い、4階のロボットコーナーでは暮らしに役立つ最新型ロボットが展示されるなど、身近に地域の産業を感じられる環境にある。ロボット工学は、日進月歩で進化しており、最新の技術動向を示した専門書や海外の文献などを揃えることで研究者をバックアップできれば、図書館が産業の一翼を担う重要な存在となり得るだろう。

また、健康コーナー同様に「ロボット本コーナー」を設け、児童やヤングアダルトを対象にロボットを

題材とした漫画や入門書、さらには研究者が必要とする専門書までを配架すれば、幅広い世代に訴求したサービスが可能となる。

次に「多文化との共生」を挙げる。公益財団法人大和市国際協会（以後は協会と表記）ホームページの地域国際化情報によると、大和市には、2016年3月31日現在、中国、フィリピン、ペルー、韓国といった76の国と地域、5,930人の外国籍住民が登録しており、住民の約40人に1人、およそ2.5%にあたる。これは、日本の総人口における外国籍住民の割合1.67%（2014年10月1日現在）を大きく上回る。

協会が行った多文化共生会議の提言では「必要な情報が届かない」、「地域の人たちとの交流があまりない」、「こどもたちが日本語や教科の学習をする環境が整えられていない」という課題が示されている。

この課題を解決すべく、協会では積極的な活動が展開されているが、図書館として、館内掲示やホームページ、サイン等を多言語化、日本の学習教材や生活に有用な資料等を提供し来館を促すことで、側面支援を行いたい。協会と連携すれば、多言語化、外国籍住民のニーズ集約は十分可能であろう。

また、シリウスに設置されているデジタル地球儀を有効利用するなど、相互の文化を学びあう交流型の企画を実施することで、外国籍住民との意思疎通、相互理解、ひいては共生が実現できると考える。

4 おわりに

大和市立図書館は、シリウスの運営主体の一角を担う図書館流通センターが蓄積してきたノウハウをベースに、様々な公共図書館の成功例や長所を盛り込んだ「図書館の最前線」といえる。行政においては、コスト削減に陥りがちな中、受益者負担の観点の下、付加価値の高い部分は一部有料としながら、設備、施設やサービスに十分な投資、整備を行い、

質を高めることで来館を促している。

シリウスには、地域のランドマークとして機能するだけでなく、住民の大和市への愛着を高め、地の拠点として、民意を高める役割を担う存在となっしてほしい。今後、真価が問われるだろうが、来館者を利用者へと転化し、図書館が地域活性化の重要な要素となることを証明してほしい。今後の可能性を広げていく公共図書館のフロントランナーとして、図書館の新たな形を提示することを願っている。

参考文献

- ・大和市立図書館「大和市立図書館利用の手引き」2016
- ・日本図書館協会「日本の図書館：統計と名簿2015」日本図書館協会 2015

参考ホームページ

- ・“大和市文化創造拠点シリウスホームページ「図書館」”〔参照2017.10.22〕
<http://www.yamato-bunka.jp/library/>
- ・“内閣府ホームページ「人口をめぐる現状と課題」”〔参照2017.10.22〕
http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/future/sentaku/s3_1_9.html
- ・“大和市ホームページ「やまとニュース（平成29年1月30日号）」”〔参照2017.10.22〕
<http://www.city.yamato.lg.jp/web/content/000122849.pdf>
- ・“大和市国際協会ホームページ「地域国際化情報」”〔参照2017.10.22〕
<http://www.yamato-kokusai.or.jp/kokusaika>
- ・“大和市ホームページ「さがみロボット産業特区」”〔参照2017.10.22〕
http://www.city.yamato.lg.jp/web/sangyo/pc4_sangyo01212050.html

（きたの まさと 図書館事務室）

2017年度図書館活動報告

1 図書委員会

第1回：2017年4月19日(水)

- 審議事項（2016年度図書費決算について、2017年度図書費予算について）
- 報告事項（逐次刊行物、データベースの希望資料調査について、収集方針について、科学研究費で購入した設備品（資産図書）の取り扱いについて、学習用図書の選書協力について、2016年度総合図書館ラーニング・コモンズの利用状況について、2017年度市民利用の受付結果について、図書館ミニ・ガイダンス5月の実施内容について、その他）

第2回：2017年5月17日(水)

- 審議事項（関西大学図書館資料収集方針（案）について）
- 報告事項（希望資料調査について、総合図書館書庫狭隘化対策の実行施策「電子資料の優先的提供」に係る作業対象タイトルについて、図書館ミニ・ガイダンス6月の実施内容について、その他）

第3回：2017年6月21日(水)

- 審議事項（津田塾大学図書館と関西大学図書館との相互利用に関する覚書の締結について、逐次刊行物（EJ含む）及びデータベースの新規資料購入ルール策定について、国家図書館（台湾）との連携協定締結について）
- 報告事項（2017年度自己点検・評価報告書の作成について、研究用図書の購入希望について、「Le Doctrinal plus フランス法情報データベース」他の図書館ウェブサイト掲載について、図書館ミニ・ガイダンス7月の実施内容について）

第4回：2017年7月19日(水)

- 審議事項（新規資料購入に関する増額申請について）
- 報告事項（2017年度自己点検・評価報告書の提出について、株式会社栗原製作所からのご寄付について、高額資料の購入について、飲料自動販売機の設置について、その他）
- 懇談事項（新規資料購入検討の前提について）

第5回：2017年9月27日(水)

- 審議事項（2018年度図書費予算申請について、逐次刊行物（EJ含む）及びデータベースの新規資料導入ルール策定について）
- 報告事項（2017年度図書費予算執行状況（4月～8月）について、学認（学術認証フェデレーション）を利用した学外からの利用について、電子ジャーナ

ル及びデータベースの利用統計について、学園祭期間中の図書館の休館について、マイクロサーバー撤去工事にかかる今後の移動対象資料の取扱いについて、図書館ミニ・ガイダンス10月の実施内容について）

第6回：2017年10月18日(水)

- 報告事項（電子ブックの試読サービスの実施について、SCOAP³プロジェクトへの参加について、Global ILL Framework（グローバルILL）の終了について、koaLABOの公開について、総合図書館ラーニング・コモンズの利用状況について、図書館ミニ・ガイダンス11月の実施内容について）
- 懇談事項（逐次刊行物（EJ含む）及びデータベースの新規資料導入ルール策定について）

第7回：2017年11月15日(水)

- 審議事項（逐次刊行物（EJ含む）およびデータベースの新規資料導入ルール策定について）
- 報告事項（人間文化研究機構国文学研究資料館と関西大学図書館との「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築事業における内製化実証試験に関する覚書」締結について、高額資料の購入について、Metals Abstractsの廃刊への対応について、Global ILL Framework（グローバルILL）の終了に伴う今後の対応について、2018年度関西大学図書館市民利用の募集について、図書館ミニ・ガイダンス12月の実施内容について、「関西大学図書館英語版パンフレット」について）

第8回：2017年12月20日(水)

- 審議事項（新規資料導入ルール策定について、2018年度図書館開館日程（案）について）
- 報告事項（文献相互利用（ILL）における校費料金立替処理3月分の運用について、2018年度学部一般入試期間中の図書館の利用について、高額資料の購入について、Taylor & Francis 理工学系コレクション3分野の電子ジャーナルバックファイルの利用について、蔵書検索システム（KOALA）の停止について、図書館ラーニング・コモンズのコモンズ・カウンター運営体制の変更について、関西大学学術リポジトリコンテンツ倍増計画について、本文閲覧件数メール通知サービスについて、その他）

第9回：2018年1月30日(火)

- 審議事項（新規資料導入ルール策定について、EU情報センター（EUi）からの脱退について）

- 報告事項（高額資料の購入について、enjoy ebook everyday（電子ブック試読サービス）における資料の活用について、2017年度図書費予算執行状況（4月～12月）について）

第10回：2018年2月21日(水)

- 審議事項（新規資料導入ルール策定について、EU情報センター（EUi）からの脱退について）
- 報告事項（「関西大学図書館図書管理規程」の改正について、メディアライブラリー所蔵の視聴覚資料の移管について、Swets Information services B.V.社（Swets社）の破産に伴う債権の取扱いについて、2018年度図書館ガイダンスについて、ラーニング・コモンズ利用状況について、総合図書館書庫狭隘化対策の実行施策「電子資料の優先的提供」に係る作業対象タイトル移動作業について、その他）

2 図書館自己点検・評価委員会

第1回：2017年6月21日(水)

- 審議事項（2017年度自己点検・評価報告書の作成について）
- 報告事項（関西大学自己点検・評価委員会（大学部門委員会）事項について）

第2回：2017年7月7日(金)

メールによる持ち回り審議

- 審議事項（2017年度自己点検・評価報告書（修正案）について）

3 図書館会議

図書委員会開催の前週水曜日に図書館長と図書館職員で「図書館会議」を開催し、次回図書委員会事項等を協議している。

4 関西四大学図書館長会議

- 開催日：2017年9月15日(金)
 - 場 所：関西大学（千里山キャンパス）
総合図書館 第1会議室
 - 出席者：関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学
- (1) 報告事項
- ① 関西四大学図書館連絡会（2017.7.31開催）について
 - ② 関西四大学図書館相互利用担当者会（2017.9.15開催）について
 - ③ 関西四大学図書館職員研修会（2017.11.24開催）について

(2) 近況報告・情報交換

- ① 図書館の図書資料費予算
- ② 電子情報の利用および発信
- ③ 利用者サービス
- ④ 課題および将来計画
- ⑤ その他

(3) 質疑応答

5 セミナー・講習会等の開催

(1) 館内での講演会①

- 開催日：2017年6月20日(火)
- 演題：「情報技術革新時代の大学図書館」
- 講演者：慶應義塾大学名誉教授・元国立公文書館長
高山 正也氏

(2) 館内での講演会②

- 開催日：2017年12月1日(金)
- 演題：「本当に使われる電子書籍サービスとは？」
- 講演者：紀伊國屋書店 ICT 営業本部
電子書籍営業部 西田 和之氏

(3) 各種ガイダンス

図書館利用者教育の一環として、各種ガイダンスを実施した。

○「入門ガイダンス」

新入生のクラスを対象に図書館の使い方や蔵書検索方法を説明した。

- 実施期間：春学期 4月6日(水)～6月30日(金)
秋学期 9月21日(水)～11月30日(木)

○「活用ガイダンス（定型内容による実施）」

レポートや論文作成に役立つ文献のさがし方および入手までの流れについて説明した。

- 実施期間：春学期 4月6日(水)～6月30日(金)
秋学期 9月21日(水)～11月30日(木)

○「活用ガイダンス（自由選択方式による実施）」

前述の「定型内容」では取り上げない特定の専門分野のデータベース（例：判例データベース、理工系学部向けのデータベース等）について21種類のガイダンス項目から組み合わせ、カスタマイズできるガイダンスを実施した。

- 実施期間：春学期 5月1日(月)～6月30日(金)
秋学期 9月21日(水)～11月30日(木)

○ 図書ミニ・ガイダンス（自由参加型ガイダンス）

館内ツアーや蔵書検索方法、各種データベースの使い方などを少人数の実習形式で学べるガイダンスを実施した。

- 実施期間：春学期 5月～7月
秋学期 10月～12月

図書館出版物案内

1 冊子目録等

- 細江文庫目録……450円 ※
わが国英語学界の重鎮、故細江逸記の旧蔵書目録。
- 大阪関係資料目録……650円
昭和35年1月1日現在所蔵の大阪府、市関係の図書・地図・近世文書・堂島文書・芝居番付・明治中期広告の総合目録。
- 生田文庫・穎原文庫目録……非売品 ※
在野の万葉集研究家故生田耕一の旧蔵書の一部と、故穎原退蔵旧蔵書の目録。
- 吉田文庫目録……1,300円 ※
元トルコ駐在特命全権大使であった故吉田伊三郎の旧蔵書目録。
- 岩崎美隆文庫・五弓雪窓文庫目録……1,500円 ※
江戸時代末期の国学者岩崎美隆の旧蔵書目録と、幕末の漢学者五弓雪窓の旧蔵書目録。
- 増田渉文庫目録……6,000円 ※
わが国魯迅研究の第一人者であった元文学部教授故増田渉の旧蔵書目録。魯迅の全著作の初版本他。
- 矢口文庫目録……2,700円 ※
本学の元学長で、イギリス経済史学界の重鎮であった故矢口孝次郎の旧蔵書目録。
- 極東国際軍事裁判資料目録……非売品 ※
極東国際軍事裁判における検察側及び弁護側提出の書証と関係資料の目録。
- 近世文書目録 ※
その一……1,350円、その二……2,000円
大阪周辺の庄屋文書を核に、ほぼ全国各地の近世文書を加えたコレクション。

- 大阪文芸資料目録……3,500円 ※
明治以降の、大阪にゆかりのある作家・画家・芸能人などの作品や大阪を題材とした作品などの本学所蔵コレクションの目録。
- 内藤文庫漢籍古刊・古鈔目録……2,500円 ※
内藤湖南・伯健父子旧蔵書の一部善本類の目録。
- 内藤文庫リスト No.1～No.5…非売品（ただし、No1は品切）※
- 芝居番付目録……8,000円 ※
大阪を中心とする宝暦から昭和に至る歌舞伎、浄瑠璃等の芝居番付約6,500点の目録。
- 撰津国嶋上郡高浜村西田家文書目録……非売品
- 河内国丹北郡六反村谷川家文書目録……非売品
- 撰津国住吉郡中喜連村佐々木家文書目録……非売品
- 和泉国大鳥郡豊田村小谷家文書目録……非売品
- 和泉国大鳥郡岩室村中林家文書目録……非売品

2 CD-ROM版

- 内藤文庫目録 KUL-bijou……非売品

3 図書館出版図書

- おおさか文藝書画展 図録……2,000円
平成6年9月、図書館創設80周年記念・文学部創設70周年記念として開催した「おおさか文藝書画展—近世から近代へ—」の図録

以上

注 ※印は関西大学図書館ウェブサイトの特典コレクションにて目録を公開している。
(<http://opac.lib.kansai-u.ac.jp/>)

『図書館フォーラム』投稿要項

制定 平成 8 年 3 月 31 日

『大学図書館研究』の原稿募集要項に準じて、概要を次のように定める。

(1) 原稿執筆者の範囲

原則として、依頼記事・寄稿記事いずれの場合も、本学の教育職員並びに本学図書館所属の職員を執筆者とする。

(2) 原稿の内容

次のいずれかで、執筆者自身の未発表原稿とする。

- ア 研究論文・研究ノート
- イ 図書館に関する調査・意見
- ウ 本学所蔵資料の紹介
- エ 図書館職員のレポート
- オ その他図書館に関する記事

(3) 収 載

寄稿原稿が予定の紙幅を超える件数があったときは、収載順序を図書館長が決める。

(4) 謝 礼

依頼記事の執筆者（図書館職員は除く）には、若干の謝礼を贈呈する。ただし、抜刷は提供しない。

(5) 投稿先

関西大学図書館事務室（TEL 06-6368-1157）
電子メール（lib-ent@ml.kandai.jp）

(6) 執筆要領

- ア 本誌 1 ページにつき 2,070 字相当とする。
- イ 原稿は横書き、電子メールまたはフロッピーでの提出を原則とし、手書き原稿も可とする。
- ウ 電子メールまたはフロッピーで提出する場合は、プレインテキスト（txt）形式もしくはワープロ（Word）形式を原則とする。
- エ ワープロを使用の場合は、1 行を 23 字とし 45 行を 1 ページとして設定する。
- オ 本文中に図・表または写真を掲載する場合は、その相当分の字数を割愛する。
- カ 原稿は次の順に記載する。
 - ① 標題、② 執筆者名、③ 本文、④ 注記、⑤ 引用文献、⑥ 参考文献、および⑦ 執筆者名の読みがな・職名
- キ 原稿の表記は、次に従うものとする。

① 漢字は原則として常用漢字を用い、新かなづかいによる。書誌学的な理由などから、特に旧字体を使用する必要がある場合は、原稿用紙の右欄外にその旨を記す。また、欧文原稿を除き句読点は「。」「、」を用いる。

② 数字は、引用文および漢語の一部として漢数字が習慣

的となっている場合を除き、原則としてアラビア数字を用いる。

③ 引用文献、参考文献の記載方法は、次のとおりとする。

a. 雑誌論文の場合

筆者名 “論文標題” 『雑誌名』 巻（号）、年月、ページ

b. 図書の中の一部引用の場合

著者名 “論文標題” 『書名』（図書の著編者名）出版地、出版者、出版年、ページ

c. 図書の場合

著者名 『書名』 出版地、出版者、出版年

d. 欧文の場合は、著者名を転置形として、雑誌名または書名には『 』を付さずにアンダーラインで示す（印刷では、イタリック体活字になる）。

[例] Downs, Robert B. “How to start a library school.” *ALA Bulletin* 52 (6), 1995.6, pp.32-48.

e. インターネット上の文献

著者名 “文献標題” [参照年月日] (URL)

[例] 永沼博道 “21 世紀の大学図書館に向けて—伝統と現代化の相克” [参照 2003.1.20]
(URL http://web.lib.kansai-u.ac.jp/library/about/lib_pub/forum/2002_vol7/2002_01.pdf)

ク 図・表は、図 1、図 2、表 1、表 2、fig. 1 のように記す。図または表を電算等で出力したものをそのまま使用するとき、鮮明なものを用いる。写真は出来るかぎりモノクロームを用いる。図、表、写真には、その裏に執筆者名、標題、図 1、図 2、表 1、表 2 のように番号を鉛筆書きのこと。

ケ 校正は、初校を執筆者に依頼し、再校以降は図書館が行うことを原則にするが、必要のある場合は、再校以降についても執筆者の協力を得るものとする。

(7) 掲載した著作物の電子化と公開許諾について

本誌に掲載した著作物の著作権は執筆者に帰属するが、次の事項について執筆者はあらかじめ了解するものとする。

ア 関西大学図書館ウェブサイトにて公開されること

イ 国立国会図書館が行う電子メディアに収録されること

以 上

〈平成 21 年 12 月 1 日改正〉

編集後記

この度、図書館フォーラム第23号が無事に刊行される運びとなりました。

何より、ご多忙の折にもかかわらず、快くご執筆いただいた皆様方に心より感謝申し上げます。また、刊行にあたりご協力いただいた方々に対しましても改めて御礼申し上げます。

大学事務職員という職業柄、パンフレットや先生方の原稿を校正する機会は幾度となくありました。しかし、今回、伝統ある「関西大学図書館フォーラム」に編集段階から携わり、一つの冊子を完成させるという貴重な経験ができました。ましてや、自分が執筆した原稿が、フォーラムに掲載され、学術リポジトリに登録されるなど思いもよりませんでした。ただただ恐れ多い気持ちでいっぱいです。

畑違いの場所から、図書館に異動してきて、私が最も思うのは、「図書館の可能性は無限にある」ということです。大学図書館の本分は紛れもなく、教育・研究に寄与することですし、それに応えるための数多の資源があります。しかし、その資源が十分に活用されなければ宝の持ち腐れです。純粹培養の図書館人ではないからこそ、従来とは違った視点で、資源を引き出し、図書館の可能性を広げていきたいと思っています。

作り手となった立場としては、少しでも多くの方々に目を通していただければと願ってやみません。今後とも、関西大学図書館を、そして図書館フォーラムをご愛顧いただきますようよろしくお願いいたします。

(北野)

図書館フォーラム編集担当

高橋 真澄・畠山 勝代・北野 正人

関西大学 図書館フォーラム 第23号 (2018)

2018年6月30日発行

編集・発行 関西大学図書館
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6368-1157
<http://opac.lib.kansai-u.ac.jp/>

制作 (株)遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL 06-6304-9325

「村田春門家集」(原題『藤門雜記 近代和歌』(2))

関西大学図書館 手紙を読む会

一 はじめに

この「村田春門家集」は、『関西大学図書館フォーラム』第二十二号(二〇一七)に掲載した一〜三十丁表の続きにあたる。その解説については、第二十二号をご参照いただきたい。今回は三十丁裏〜七十六丁裏の最後までを翻刻した。

なお、関西大学図書館手紙を読む会のメンバーは、以下の通りである。
森川 彰(助言者)、池尻孝子、鵜飼香織、田中純子、中川敏子、長谷章子、瓢野由美子、福寫真奈、八尾奈緒美

二 凡例

翻刻については、次の要領に従った。

・漢字は、原則として常用漢字に改めた。

・仮名は、原則として片仮名及び平仮名を用い、変体仮名は平仮名に改めた。

・踊り字はそのままにした。

・破損、虫害、判読不能は□で示した。推測できる場合は□の中に字を入れた。

・難読字は()でかなを付した。

・丁移りは「」で示し、上に丁数と表(オ)、裏(ウ)と明記した。

よのひとの わりなくくもの いとはれて さすかにすめる 月そかたふく

猫

ふるころも つみゆるされぬ ものとてや ねつみならへる ねこまなる
らむ

山家秋興

山さとの かきほにかゝる つたかつら にほひてあそふ けふにもある哉

紫蓮尼のいほり八日下の山のなかハにありてにしき色目路
かきりなく海かけて見わたされたり 松のこの間にさくらかへて
枝をかハしとりのさへづりむしの声まていとあハれふかき所

なりけり おのれかつねにおもふにかなふ所又ほかにハあらし
うら山し よしの、たけの おくまてと さすかによをハ おもひすてねハ

おなし庵にて月を見て

なにハより はるかなりつる いこまねの このまの月を かそへてそみる

秋の山に松たてり

しかもなき もみちもせねと 外山なる 松のいろさへ あきさひにけり
31ウ

名所鶉

声たつる うつらころもの みしかさニ 秋のさかの、 つゆそみにしむ

わけゆけハ かたの、うづら 床かへて みちなきかたに 今そ鳴なる

雨夜思月

あやにくに 月のよころを ふる雨の おとのみしけき まとのくれたけ

月のため あたらこすゑを はらハせし かひなくそゝく よはのあめ哉

同

暁天渡雁

つらくくに つらねきにけり 春の雁 なきてわかれし よこくもの空

同

松間月

さよなかと かけハふけても 軒ちかき 松をはなれぬ あきのよの月

同

月前恋

されハよと おもふもうれし 月いる、 けしきハかりに さゝぬねやの戸

同

浦月

うらのあまも かつきつくきて 秋をへて なみまにしづく 月のしらたま

同

雲収月行辺

そらの海 くものうき波 しつまりて 月のミふねぞ かけとゝめける

同

庭前月

月やとる つゆのしけさに 庭ハ野と あれつるあきも うれしかりけり

同

月前尋恋

しをりせよ 月人男 おひしきて いるかけ見えし かたたつねてん

同

寄月祝

ひさかたの 月のひかりを 千万に わけてとしある ミつほたるらん

同

古寺月

しきみたく けふりハそらニ さはらすて 月の光の ミつのおほてら

をりかたき 月のかつらの 花陰に たちうかるらん 秋の宮人

同

花路月

くもゝなく 月あかきよは やへ山と かさなるみねも さたかなりけり

同

山月

はれくもる 月の心と しりなから くやしうかけて 契りつる哉

同

寄月変恋

うまさけを ミわのこのまの もミち葉ハ うへしも多へる いろにぞめ

同

紅葉如醉

けり 山鹿 秋風の ふくにまかせて ゆくくもニ ましるかミねの さをしかの声

同

惜秋

のこりなく 秋ハ来けり こさまさる もミちをゝしむ こゝろまきれニ

同

秋風満野

のハなへて ひとけもミえす 荻薄 声をあハせて 秋風ぞ吹

同

隣家紅葉

わかならぬ とりのそのゝ もみちはも 心にしみて をしまるゝかな

同

紅葉厭風

もみちふく かせのこゝろの さかなさは しくれをさへニ さそひきに

同

紅葉厭風

もみちふく かせのこゝろの さかなさは しくれをさへニ さそひきに

同

けり 同

紅葉送秋

もみち葉ハ つゆしもふかき ミ山より くれゆくあきを まつおくるらん

同

秋樹

もミちせぬ 松ももみちに ましりてハ 中、あきの いろをそへけり

同

秋井

あきのよは 井のへのかつら つゆちりて 月のひかりを た、へつる哉

同

山路菊

山ひとの やとハと、へと しらつゆの ミたれてきくの にほふたにかけ

同

山ふかく きくをしをりて いるま、に そてのかさへも 秋さひにけり

同

待恋

わすれてハ こよひさへにそ またれける かならすあすと たのめしも

同

のを

山路時雨

そてのつゆ しほりて こ、に松陰や はるれハかゝる ミねのしくれを

同

初冬暁

さをしかも 鳴よはるらし まはきさく あきハゆめの、 暁の霜

同

霜夜月

あしかも、 はふきなく也 月さえて 水の上にも 霜やおくらむ

同

たかくと をのへをかけて おくしも、 おなし色なる 月そしつけき

同

松の葉の 月のひかりハ それなから かせのまに、 霜そこほる、

同

月かけハ いや、さやけし しもなから このはしくる、 よはの山かせ

同

水郷眺望

夕けふり 薄くくれけり 海士の刈 ミるめハおひぬ しほづすかうら

同

東宮

わかやかに たもとつらねて 出入も のとききはるの ミやのうちかな

同

大臣

かけひろく むらさきにほふ ふちなミハ あふくもたかき つかさなり

同

殿上人

ゆるされて みはしをのほる うれしさハ つ、むたもとの いろに見え

同

名所時雨

さためなき しくれのあめの あしほ山 てるかたわくる ゆふつく日かな

同

寄衣恋

うまひとの あやのみけしの みにおハぬ こひをハこひぬ ためしなら

同

雨後遠山

ふりそ、く あめのなこりの ふかミとり とほやまちかく はれわたり

同

時雨晴陰

けり

かさやとり たちいてはやと おもふまに またかきくらす むらしくれ哉

夢逢恋

あはれとハ わか中神も おもふらん さすかにゆるす ゆめのかよひち

同

庭空草

わかやとの かけにもせんと たのミしを 霜さやくなり 庭の枯萩

同

落葉帯霜

おく霜の あさひに、ほふ ぬれ色ハ ちりてもこさの まさるもみち葉

同

寄海恋

いへとく ひとのころハ いさなとり 海さへあさき わかおもひかな

同

海辺千鳥

おきなミの うへより風にあらハれて いそつたひして ちとり鳴なり

同

寄衣恋

よにしのふ 下のにほひも あらはれて うきまつハしの うへのきぬかな

同

35才

依忍稀恋

かすならぬ 吾名ハあれと きみか名の をしのけころも まれにきにけり

同

山家雪

春こハく あらましことも いたつらに つもるミヤマの 雪の下いほ

同

露

おきいてて くさのたもとに くらへ見む かたしくそでの 暁のつゆ

名所霞

は、き、の おもかけきえて そのハラヤ ふせやもわかぬ 夕かすみかな

同

五月雨晴

めづらしく そらいろ見えて かりこもの さミたれはる、よとの沢水

同

薄のうへより けふりたちたるかた

うらやまし むろのやしまの 夕けふり ひとにおもひを しのハざりけり

同

田残雁

おはれしと おもひのとめて 刈果し 冬田にかりの わたりきぬらむ

同

35ウ

俄逢恋

にハたつミ にはかにあめの ふりいてて なかれあふせそ うれしかり

同

ける なかれてハ 又ゆくりなく あへりけり はやくわかれし 川島のミツ

同

初冬

いろふかき もミちもきくも それながら そらより冬の けしきたちけり

同

寒閨聞轂

かさおこし ふけゆくねやの 埋火の おもひくたくる たまあられかな

同

来不留

おも荷つむ さかちのくるま と、めても おしてもはやく かへる関かな

同

春日山鹿

かすかやま ミねのさをしか 鳴なへに にほふゝもとのゝへの秋菘

同

かんきくはしはみ 物名

36才

いさゆかむ きくのミならて よしの河 しは見てこそハ よしともいはめ

同

遠山時雨

ミねわきて ふるほどミゆる むらしくれ はやくおひしく うきくもゝ
なし

同

すミかまの ミねのけふりを かきけちて いくたひけふハ うちしくる
らむ

同

しゝまひ

ひとさハに おとりたちまひ のゝしるを しゝまひみよと いかていふ

同

橋上霜

もとつ葉ハ つみのこしたる かしは葉の かれはのしもの つゆそしつ
けき

同

片恋

こゝろから なけきそしける としをへて つれなきひとを 片恋の岡

同

載安道故事 冬遠情

からひとの あとをそおもふ 山陰や ほそたに河の 雪のあけほの

同

名所炭竈

すミかまの けふりに見えて つくは山 このもかもの 風ぞミたるゝ

同

36才

冬雨

つねにふる あめのおとさへ けふくと うつれハかはる 冬のよはかな

待花

はなハよの つねなるものと しりなから こゝろもとなく 日をかそへ
つゝ

同

さくことハ 春にまかせて さくら花 またしとおもへハ あめそかすめる

同

夕郭公

ほとゝきす あすはたいかに またすらむ いまきゝそむる 夕くれの声
・そら

同

おなしくハ ちかくなかなむ 三日月の ひかりほのめく 山ほとゝきす

同

名所雪

ミるひとも なくてきえけり おほはらの ふりにしさと の けさのしら雪

同

忍恋

しのふにも あまりておつる なミた哉 まきれもはてぬ ゆめのなこりに

同

川なミの 水のしら波 おともなく われてあひみる よしもあらなむ

同

羈旅

さめかたき ゆめのまくらの 朝あらし みつるミヤこの つゆはらふ也

同

みやこをハ そゝろにいてて たひころも まよひゆくなる かたそはる

同

社頭祝

みつかきに かくるしめなハ うちはへて よハのとかなる はつ風そふく

同

もろひとの よむことの葉も ひかりある いほつゝとひの たまつしま山 同

遠炭竈

山つみの たつるみつきと たかくくに けふりたえせぬ をのゝ炭竈 同

松雪

つくしわた あたゝかけにも みゆるかな 風ハそらふく 松のしら雪 同

春ことに きゆとハすれと 松かえの ちよつむものハ 雪にそありける 同

寒日経詹短

ふゆのひの のきはの柳 ちりはてゝ いともミしかく くれかゝりけり 同

行路氷

をくるまの かよふ市路の 朝氷 くだけなからに またむすひつゝ、 37ウ 同

松霜

わかさとの 岡へのまつの 朝嵐 しもゝおかしと 吹はらふらむ 同

閑時雨

あつまちの せきのゆきかひ いとまなく うまやのすゝの ふるしくれ 同

山亭冬到

もミち葉は さそひもはてす 冬ハまた たつとはかりの 軒の山風 同

朝霜

むくらふハ 朝しもきえぬ よひくの 月のひかりを つゆにとゝめて 同

閑庭紅葉

もミち葉の したてる庭の こけしミつ いろあたらしと くむひともし 同

冬野

くれなゐも ミとりもかれて おくしもの しろきにかへる 冬のゝへかな 38才 同

冬動物

すさましミ 見すてゝとさす 月更て よをもるいぬの 声そひまなき 同

にこふすま かつきふしたる 埋火の あるかなきかの 声さへもうき 同

閑庭落葉

冬くれハ このはみたれて 中ゝに ものさわかしき にはのゆふ風 同

人伝恨恋

まくす葉の うら見んとおもふ 折こそあれ たよりうれしき 山こしの風 同

冬庭

さらぬたに よはのあらしの さむしろに まぎの葉しのき あられふる 同

冬苔

かせをいたミ いはほのかたの こけのうへに このはころもを かさね 同

初冬日

冬の日ハ のころもミちも なにはかた かり跡のあしの みしかゝりけり 38ウ 同

初冬衣

かせさむき 冬のけしきも しられけり くち葉かさねの 衣手の杜

同

冬野

かくれたる みちハかた〜 あらはれて ひとかけもなき かれの原かな

同

落葉満流

いまもなほ あきのなごりの ありてゆく おち葉か下の あさ川のミツ

同

鳥さしといふもの、絵に

のかれきて すむかひもなし もちどりの かゝるうきよの さかの山さと

同

未不言恋

ひとやりの なげきならめや 我心 うしとやさしと いひもやらねハ

同

初恋

ことにて、 なに、たとへむ からころも むねあひそむる よはこの、ろを

同

月前水鳥

をしかもハ いまもむれゐて かけこほる 月やむかしの はりやすの池

同

むかしをおもふ恋

通いにし そのかたしろも なきさはの もりしうき名ぞ おもひいてなる

同

としころも おもひたゆとハ なかりしを なにいまさらの なみたなるらむ

同

寄催馬楽恋

まれにしも なにたゝくらむ おしあけて きませわかせこ さゝぬいた戸を

同

寒松

たまくしけ あくるミやまの 風さえて 霜吹こほす 松の下陰

秋をへて みさをミたさす 吹かせの さゆるや松の こゝろなるらむ

同

冬夜難明

そはたつる ねさめのまくら いくたひか しもに声ある かねそよふかき

同

筆墨紙 物名

むすふての 雫もこほる あさ川そ けさハますミの かゝみなしける

同

寄水恋

つれなしと おもふこゝろの なくさめに ひとりかすかく みつくきの跡

同

霜夜月

ひさかたの そらゆく月も おくしもに ひかりしみつく 庭のくまさゝ

同

後朝切恋

わかれしハ このあかつきの つゆのまの おほつかなさに みこそやせ

同

片恋

つるきたち もろハならねと 身にそひて 忘れかたき ひとのうへかな

同

あられ

冬こもり たれまつとしも なきやとに 風のしきたる たまあられかな

同

道堪か家にて冬至の日

ものゝ音も こよひハわざと あら玉の はるのこゝろを 吹かへすらん

同

川千鳥

むらちとり ミたれなくなり ときつ風 ふくやなミこす 野田の玉川

同

忍てこゝろをかよハすこひ

40才

しのひつ、こけの下ゆく、ミつくきの あとみるのミそ いのちなりける

同

いとほるゝ恋

いとへたゝ、いとへハとても 死かハリ おもひやむへき 吾こゝろかは

同

聞恋

おとにのミ きくの浜風 よるなミの ぬれきぬをたに ひとにきせはや

同

夜水鳥

あらしふく よはにさわきて 水とりの こほらぬかたに しろやかふらむ

同

冬野鹿

あらはなる 冬のゝ原に さをしかの つのふりたつる むらしくれかな

同

冬市

たてまつる 弓弭のミつき あまりある 御代のいちちの 冬そにきはふ

同

しもふみて あしとき駒ハ あきひとの うりかふいちの ひまやゆくらむ

同

芦花似雪

名にしおふ ゆきのしま風 ふくまゝに あしの花こそ そらにミたるれ

同

刈のこす たゝひともの あしのほの ほのにゆきちる 夕かせそ吹

梅に鶯のきゐるかた

梅あれハ かならす来ゐる 鶯ハ たかいさめをか わすれさるらむ

同

しほかまのかた

あまのたく うらのしほやの けふりより 沖浪かけて かすミそむらん

同

喜里川のさとにてふみよみとけるついでにとしのくれと

いふことをひとくゝとゝもによみたるにこゝにかよひそめしより

はやくとしへたることをおもひてよめるつらねうた

ことの葉の みちのしをりの あとゝめて かよふミとせも いまハくれ

けり

くれぬとも さのミなけかし うつせミの ひとのよハたゝ かくこそハ

あれ

かくこそハ あれとおもへと いたつらに つもる月日そ くやしかりける

同

くやしさを おもひはるくる ことのはも めつらしけなく つもるとし

かな

つもりたる わかミのとしの かすをのミ ほこらハしけに かきかそへ

つゝ

寄笛恋

つま琴に ふきあハすめる ふえたけの もとすゑとほる 契りともかな

吾せこか のるこまふえの こまほしく おもふゆふへに 声そきこゆる

同

池氷

日もかゝミ かたくむすひて たかたために いけのこゝろの とけぬなる

同

らん

芦花似雪

をりかさし ミせはやひとに あしのほの ゆきとミたる、そでのけし
きを

風のむた 雪かなからふ いなをかも 長江の岸に あしか花ちる 同

河水鳥

もミち葉ハ 庭にくちゆく 谷川に なほいろ見ゆる をしのむらとり 同

冬の日も のとかにうつる 玉しまや な、せのよとに うかふミづとり 同

窓前雪

したをれハ いとふものから おもしろく 雪こそつもれ まとのくれたけ 同

雪ふかく ふりしもしるく さよなかに まとのいたとの ひましらみけり 同

嶋雪

たくひなき ミるめなりけり あさひかけ た、さすしまに つもるしら雪 同

なみのゆふ あはちしま山 しろたへの ゆきのところもを かさねきにけり 同

ちかのうらや ちかき笹の しまさへも とほくミるまで 雪ぞつもれる 同

寒山月

ゆきもよふ あらしハたえて ミ山木の こすゑにこほる 有明の月 同

山さとハ 雪もこほりも てる月も ひとつにさゆる 軒のよあらし 同

遠山雪

おほひらや をひえにかゝる 雲はれて けさみそめけり ミねのしら雪 同

ありま山 ミねのしら雪 をりくハ あらしの庭の 花とちりなむ 同

都雪

小車の ワたちも見えず 白雪の けさこゝのへに ふりつもりてハ 同

ふりにきと とものみやつこ まをすらし 雪の花さく あけかたのそら 同

椎柴

こりつみて 冬こもりする 山さとハ よにゆたかなる 軒のしひしは 同

花もみち さそひつくせし 山風の つひのよるへの ミねのしひ柴 同

人のもとより色よききぬをおくりけるよろこひに

山ひめの 心つくして これそこの 秋へておれる にしきなるらむ 同

寄魚恋

川よとの こひのいろこの かすくゝに おもひしづめる 我ミなりけり 同

あゆさへも 時をしくれハ 山河の うれしきせをも のほらすやある 同

井岡春蔭かをこのうませたるをいはひて

たちならふ 松のときはの かけこそハ よこもるかめの すミところなれ 同

氷

冬なから 日のさすかたハ あつ氷 さすかにとくる おとのさひしさ 同

水たまる いけの下ひも ふゆの日ハ こほりのくさひ さしかためけり

同

立春

42ウ

なには江の あまたとしなミ たちかへり たちかへりつ、 春そたのしき

同

としのくれ二

月も日も けふとくれてハ こむ春を まつよりほかの なくさめもなし

同

年内立春

としのうちに かすミもなにも とりあへす いかてか春の いそき立らむ

同

初春水辺

柳かハ はるかせわたる みしまえや や、あをみゆく なミの小草

同

風光日、新

はるたつと かすミそめしも けさよりハ キのふちかき ミねのしら雪

同

登梅

冬かけて さきつる梅の 花なから ミるひとたれか 花にあくへき

同

早春待花

さくら色に かすミのころも そめてきむ ときそまたる、 いつしかと

同

早春

43オ

花かさし わかなつまむを いまよりハ のへのしらゆき はやもけならむ

同

鶯声隔樹

のとかなる 春のひかりの さし柳 なひくそなたに 鶯のなく

霞

はれわたる 沖のしらなミ ほのくと かすむもけさや うらのはつしま

同

はるのはしめに

山からす ねくらたちて、 なく声も としのはしめハ ことにしありけり

同

あけにけり とやまの松の しら雪も いつしかけさハ かすミそめつ、

同

むら山の 雪のひかりも ほのくと かすむかうすく けさハ見えけり

同

里鶯

うくひすハ こすゑ春めく さと、ひて おのか古巢を あこからすらん

同

雪の、ち月あかきよ梅のかをりけれハ

あやまたす 風こそかをれ 月雪も おなしいるなる うめの初花

同

む月の三日四日うちつ、き雪のふりけれハ

こほりゐし たかねのミゆき 吹ときて さそひきぬらむ はるのはつ風

同

ふりつもる ミゆきハ冬の ものなから しつくそはるの おとをたてける

同

夕鶯

鶯ハ 声さやかなり ミねをもも かすミはてたる 春の夕くれ

同

正月七日きのえ子の日なりけれハ

青柳の えたとひくゝる うくひすの はつねのとけき けふニもあるかな

はるかすみ たなひきわたる 小松原 うへこそけふハ はつねなりけれ 同

ちつこかことしも若菜をうつくしきひけこにいれて

おくりけれハ

ことの葉の 其色かへす はつわかな かたミに春を つむそうれしき 同

山霞

春霞 ふかくなるらし 日にそへて とほくなりゆく むこの山のは 同

賭弓

あつさゆミ はるのかすミの たちいてて こゝろいらる、 けふのもろ人 同

44オ

あやまたぬ けふのもろやの かちさひに 春のしらへを 吹かへすらむ 同

梓弓 とりてならへる とねりらか そてもゆたかに 春かせそ吹 同

おほきミの ちかきまもりと とるゆミの とものおとたかき くものうへかな 同

はなつやに おのか心も のりゆミの かへりあるしそ ゆたけかりける 同

春水

春の日の 光にとけぬ つれなしと ふゆハみえつる いけのこゝろも 同

こほりゐし 春の下根の 忘れ水 さすかに春は おとをたてけり 同

魚始躍

山河の なひくうきもに ふす鮎も はるのひかりを けふやしるらむ 同

紅梅映日

春ふかき 梅のさかりハ ことさらに 朝日夕日ぞ こそめなりける 同

くもはる、 あめのなこりの つゆさへも 夕栄ふかく にほふうめかな 同

閑中春曙

しつけさハ まくらにちかく 百千鳥 ちとりさへつる 春のあけほの 同

44ウ

しはの戸ハ 風もたゝかて はなとりの いろねにあくる 春のよのゆめ 同

谷早蕨

いかにして をりしりぬらむ 春の日の ひかりもうすき 谷のさわらひ 同

もえいてし かひハなになり ひとしれす 春もたけゆく たにのさわらひ 同

梅薫風

以下卅首文政三年正月廿二日夜詠

春風の かつ吹さそふ 梅かゝも つねにことなる あけほのゝそら 同

あたらしと をしむかきつの 梅かゝを 心のまゝに さそふはるかぜ 同

梅かゝと ともにつたへる 春風は みせはや人にと おもふ心を 同

おほつかな たかすむさとの 梅ならん かをり来にけり よはの春風 同

さとくの 梅さくころの 春風は 庭のたまさゝ、 かにゝほふまで 同

おひしかむ よしたにもなく 吹過ぬ いかにかせまし 梅の春風 同

このあさけ 風かをりけり 鶯の 声する岡の 梅やさくらむ

同

梅かゝを ほのかをりとて たまたれの をしむかひなく 過るはる風

同

45才

かをさそふ 風をしるへに 梅の花 ゆきてや見まし 道とほくとも

同

うめの花 こゝろにしみて おもへとも かははるかせに まかせてそやる

同

余寒月

まきの葉に しもやおくらむ 春のよの 月かけしらく さえかへりけり

同

月かけも さらに氷て 山のはの かすみ吹とく 春のよあらし

同

さしなから 月そはるなる 山河の 岩こすなみハ さえかへりても

同

ふりつみし 雪ハさそへと 春のよの 月ハくもらぬ ミねのよあらし

同

月さえぬ またやハそらに 冬をしも 春の山風 ふきかへすらむ

同

春やゆめ 冬やうつと ことゝへと こたへぬ月そ そてにこほれる

同

さらにまた かくしも月の さえぬらん かすみそめしハ ゆめならなくニ

同

梅かゝハ 春のものとして かをれとも またさえかへる よはの月かな

同

川風ハ なほさえなから 柳原 けふるか月の かけかすか也

あらたまる ひとのけしきも おもハすて いかてか月の さえかへるらん

同

初逢恋

とこなめの あやうきせをも 初瀬河 おもへハこそハ わたりそめけれ

45ウ

くさまくら むすひそめけり 草つゆに ぬれての後の 心しらねと

同

きのふまで あふにかへむの あらましも おもへハあさき 吾こゝろ哉

同

こよひしも ゆるしそめたる たまくらの かひある末の ちきりともかな

同

なみた河 わたりそめてハ なかくに うきせにたてる みをつくしかな

同

春のよの はかなきゆめを 見てしより こゝろの外に ミたれそめつゝ

同

かきくつし 見せはやこよひ かすくゝに つもるおもひの かたはしをたに

同

あらかしめ いまゆくすゑの よかれをも かこちそめたる ねやのたま

同

うらワかき のきはのをきハ 吹風の かたゝかへとも おもハさるらむ

同

けふよりハ ひとをまつにや かゝらまし あハぬほとこそ さてもあり

同

しか をみな春駒といふまひまふかた

はるのよの ゆめにみてたに よしといふ そのワかこまの 声そいさめる

同

東大寺晚鐘

ひむかしの みてらのかねの 声のうちに ゆふ日いさよふ 山のはのくも

同 46才

国

山とほく かへすたところ うちはれて たみゆたかなる ひたかみの国

同

なかのはる

こもりのミ をるへき時か はるかすみ たちててのへの すみれつまし

同

翠之池塘柳

かけ見えて ふかきみとりの 水たまる いけのつゝみに なひく青柳

同

つゝみなる 柳なひきて はらのいけ のかものあをはも はる風ぞ吹

同

風わたる いけのつゝみの 古柳 はるのみとりハ なみやそむらん

同

かしのやのつとひに翠之池塘柳といふことをよまれたる

うたともをかきてとこひたるにおのゝかゝれたるを見

めて、

ことの葉の ミとりもそひて なひきあふ いけのつゝみの 柳はらかな

同

賭弓

たちまひて かよるたもとも 梓弓 かへりあるしの よそほしきかな

同

46ウ

梓弓 おたしきみよは くもの上の 春のミものと けふやひくらむ

同

春日望山

あさ日かけ かすミてにほふ ひきまゆの みとりもうすき をちの山のは

列見

あきのいろを 心にかけて たちいつる そてのみとりに はる風そふく

同

国

山のはの ひかりのとかに くにはらハ けふりたちたつ 夕くれのそら

同

鼯鼠

山さとの しの吹さわく よあらしに みねよりおつる むさゝひの声

同

松残雪

けふもなほ くもたちまよひ 山さとハ 友まつかえに のこるあわゆき

同

晚風催恋

たまたれの をちかたひとを こひをれハ 心うこかし ゆふ風そふく

同

晚霞隔浦

すまあかし かすミへたて、 くれにけり しほやきころも まとほなら

同

ねと 47才

帰雁

春風や 吹おくるらん この朝け すゝろになきて かへるかりかね

同

寄嶋恋

はるかなる えそかちしまの かすゝくに おもひわたれと そのかひも

同

水郷柳

老にけり さほのさとひと 青柳の はるハわかゆる かけをむすへと

野董

すミれさく のへのあハれを しりかほに つむもやさしき はなの色かな

同

燕来

つはくらめ ならふ軒はの 春霞 たちもまよはす けさそきにける

同

亀の糸に

え

山川の とこなめきよき なかれこそ かめのよをへむ ところなりけれ

同

おのかへん よろつよしめて 岩淵の 水のみとりの かめそあそへる

同

河内国鷲尾山の花見に行けるにやうくうつろひて

いまハのこりすくなゝるにあめををりくふりあられさへ

ましりたりけれハ

なこりなき ミやまの花の このまより ものおもはせに ちるあられかな

同

花見んと けふ分のほる 山吹の ミのなきものを あめさへそふる

同

雲雪と ミねのさくらに 春雨の ふりぬることも めづらしきかな

同

おもほえず あられふりきぬ 山さくら くもと見つるハ そらめならすて

同

蛙声幽

かはつ鳴 声もおほろに きこゆ也 さく山吹の 花かけにして

同

遅日

小田かへす 牛のあゆみの おそきひも なほくれをしき 春のゝとけさ

同

深夜帰恋

ともともに なきてわかるゝ さよなかの そらうらめしき ちきり也けり

同

竹裏鶯

梅うゑて 吾まつとしも しらさらむ うくひすきなく よそのたかむら

同

48才

仏光寺のいまの君のよろこひしたまひたるに青松千年

といふことを

みほとけの ひかりもそひて わかみとり やちよの春の 松そさかゆる

同

山吹をうゑて

井出へとハ おもふものから 道とほミ うゑて吾見る 山吹のはな

同

春暁夜帰雁変恋のうたをあハせて便しけるに

返しつかハすとて三題をひとつによめる

あけほのに かへるかかりの 春秋と かはるこゝろは うらみられける

同

寄花無常

山風を うらむもあやな おほかたも 花ハこてふの ゆめのよの中

同

満ち子かむつき廿日あまり二日のひ身まかりけるに去年

河内集といふものえらひつるにはやくその名のミと、めしことの

はかなくて

あわゆきの はかなくきえし 春のゝの かたみのなこそ つゆけかりけれ

なかめふる 春ハきのふの 枝そくく つゆうつくしき さくらゐのさと

同

立ならふ かへてもかしも かきくらし 水枝をしほる あめそさひしき

同

首夏小集

さくはなに つとひなれたる このもとハ なつきてもなほ 立うかりけり

同

ほとくきす おなしこゝろに 待友の つとふとたにも そらにしらなん

同

山さとの あろしの心 つくしなる めづらの魚と これもいはまし

同

かきほなる 卯花くたし しめやかに かたりもあかぬ つとひなりけり

同

50才

女のうたかはしといひけれハ

朝夕に よりもそハなむ うこくやと こゝろミかてら まきのはしらに

同

名所山吹

さきにほふ いろにそむきて かはつなく あかたのゐとの 山ふきのはな

同

首夏水

おほゐ河 なかるミづも ふかみとり あとなき花の かすゑのみかは

同

更衣

花の色に をりしかすみの たてよこも うすくなりゆく なつころもかな

同

匠

ミヤマきを ひたのたくミか とる斧の おとにきはしき とのつくりかな

新樹妨月

はるよも この下やミハ いたづらに 月にやとさぬ こけのうへのつゆ

同

富士

ふしのねハ 国の御はしら おほかミの ほめていはひて みたてましけむ

同

50ウ

言和不逢恋

ことの葉ハ みやまのこすけ やはらかに なひきハすれと ねをも見ぬ

同

かな 春のよふねにのりてよと河をのほりけるに

春のよの ふなちのとけき ゆめのまに ミやこにちかき 山そ明ゆく

同

春山さとに人なかめゐるに

春の日に もゆるわらひの 夕けふり しつかにけふも くれんとそする

同

首夏木

さしかはす ミつえのつゆも ふりまさる にはとなりたる 夏こたちかな

同

旬

夏衣 けふあらためて おほ君の あつきめくみそ みにおほえける

同

たかものも みなミにむかふ おほきミの 風心よき あふきなりけり

同

たまハれる あふきの風ハ なつ衣 すしのあやに かしこかりけり

同

富士

ときしらぬ 不二の真雪に ちはやふる かみよのあとハ いまも見えけり

同

夏草

51才

うもれても かとのましみつ すみなれて いふせさしらぬ いほの夏くさ

同

なつはた、 むくらそしける 門さして なしといふへき わかこゝろかは

同

をりくハ きつねのよこゑ きこゆまで しけくなりけり 庭の夏くさ

同

蛍

はし居して 夕なかめする そてのかに なれぬほたるそ よそになりゆく

同

夕つゝの ひかりもみえぬ このくれに すかるほたるの さを見えけり

同

旬

さなへとる なつはしつめの まつりこと けふをときとて きこしめす

同

首夏鶯

うくひすの 声おいなから 夏きても しつけき庭は たちもはなれす

同

幽栖夏来

あさ風に わか葉そよきて わかこゝろ 夏にうつろふ にはそしつけき

同

わかやとの うゑ木のミつえ つゆちりて こけの花さく 夏ハきにけり

同

海部

うかひいつる おきつしほ合 かひなくハ からき世をしも いかてわたらん

同

むかしあへる女に

51ウ

おなしよに ありとハかりの なくさめも はかなやひとは よそにきく
らむ

対樹恋春花

春花を いまもしたひて わか葉かけ とひかふてふそ 吾こゝろなる

同

おひしける 梢動かし 夕かせハ ふけともちらぬ はなのおもかけ

同

水鶏驚夢

うきひとの そもなになれや おもひねの ゆめさまたける たゝくくひ

同

ことならハ うきよのゆめも さまさなむ たゝきもやまぬ よはのくひ

同

まくら

ミつのも いまはものうく 老ぬれハ 枕ハかりそ うれしかりける

同

待郭公

ほとゝきす こよひかならす ふりいて、 なきとかなむ あめもよふ也

同

市

よのちりの たちさわくなる いちなかも 心からこそ やすくすみけれ

同

52才

稀逢恋

からいとつ まはほとく たゆへしと みえてあふよも あれハあり
けり

同

野川に舟ハありながら棹なかりけれハ

わたりもり いかなるゆめか むすふらむ つなきすてたる のちの川船

同

わたせをと よふにこたへも なミの上に わかこゝろさへ たゝよへり
けり

同

すゝめのこのすたちたるを見て

あさるとて たちゆくおやを したふなる こゝろうつくしき ひなすゝ

同

めかな またかたよわき は風にも なひくわか葉の かけそすゝしき

同

新竹

わかたけの もとつ葉す多葉 しけりけり あさゆふ風の ふくとせしまに

同

おひそめて いくかならぬに 夏かけの うれしきいろを みするたけかな

同

石堰か前栽のどこ夏に ちりもはらハぬといふことを

さしておくりけれハ

うるハしき きみかめつなる 床夏に ちりてふことは いかてかくへき

同

52ウ

船中見花

さしてゆく かたハたかへと 吾ふねの さをとりなほし 花をしそミる

同

かけてほす 岸こきはなれ ゆく船の あとなき花の 浪のぬれきぬ

同

詞和悲

いつもたゝ めづらしけなき ことよさに たゝよハしくて よをわたる

同

かな 立よりて ひかハよりつく 見えなから 岸かけたかき 青柳のいと

山残雪

雪なから かすむたかねの あけほのハ 心にうかふ 花のいろかな

同

いつしかと 花まちわたる 春の日に つれなくみゆる 山のしら雪

同

みねの雪 などゝけさらん 吾やとの 松ハのとけき 春風そふく

同

はるかすミ すてにあまねき 八重山の あなたのミネに のこる白雪

同

分ぬとは ミえぬものから 春の日の 光にそむく ミねのしら雪

同

おく山の 真木の下根ハ いつとけむ ものともなしニ のこるしら雪

同

53オ

いはかねの なみの音たかく なりゆくを 雪なほふかし 水上の山

同

かけろふの もゆる春へを いつとちる なほきえさらむ 嶺のしらゆき

同

いまいくか ありなハつきむ けふゝと ミとりそひゆく みねのしら

同

雪 山さくら はやも咲めと かりかねも あやしむハかり のこるしら雪

同

野春草

おもかけに あきのにしきも 春霞 あさミとりなる のへのはきハラ

同

青柳の えたもしつけき はる風の ゆくへしらるゝ のへの若草

同

かすみたつ のもりかいほを 春草の 花つミかてら けふやとハまし 同

つみて皆 かへるを見れハ 春のゝに すミれてふ名そ ことにし有ける 同

かすみたつ のへゆきかへり 若くさの あをきをふミて あそふのとけさ 同

はつわかな つミしやいつら 春ふかく いく田のをのゝ をくさおひけり 同

春のゝに さくやあさみの あさましく あさみはつへき くさのはもなし 同

たてよこに 春の大野を とひかひて わかくさむしろ てふやおるらむ 同

うつくしく 春の小草の うちなひき 霜のなこりも 見えぬのへかな 同

53ウ

あさミとり かすむおほのに うちなひく くさの色こそ 春のものなれ 同

望遠帆

松かけハ やゝくれ行て 沖わたる ほのかにのこる 夕ひかけかな

つくしふね いまやはるかに よせつらん ほかけつらねて みえわたり 同

あさあらし ほとよくおちて もゝふねの ほかけつらなる 青海の原 同

むらさきの わたると見しも ときのまに おきつほたかく あらハれに 同

けり

いり日さす とよはたくもと 見えつるハ なにはよする 真帆にそ有 同

ける

なみ風の おともしつかに おほふねの ほの見えそめて あくる海ハラ 同

夕日さす しまねハはやく くれはてて おきつほかけそ 雲にまきるゝ 同

つくしかた 西やふくらん 朝ふねの ほのかに見えて あくるうら波 同

うちわたす あかしのとなみ たかゝらし まほにかたほに ふねのゆく 同

見ゆ まはたかく 吹上のはまの このまより 見えてなにはに はつる百船 同

おきつ風 おひて吹らむ ありそ波 ほのかにみゆる なたのうら風 同

故郷花

54オ

あれぬれと 軒場の花は つはくらめ いくはるかよふ 葉なるらん 同

牛はなつ 野となりゆかハ 此はなや おのかゝきつの 名をのこすらん 以下同

いるひとも なくてのとけく 花見るそ よもさかそまの かひにハあり ける

ふるさとに かくてわかよハ つくसानん のきはのはなの かれぬかき 同

ふりぬとて このさとをしも いてゝいなハ 心かろしと はなやおもはむ 同

そのかみの さかえしられて 風かをる たきのミヤこの 山さくらはな 同

さく花の いろそふりせぬ かすみたつ おほミヤところ さたかならねと 同

みやひとの かさしのさくら はなさきぬ しかの山もり いまはおかねと 同

いたづらに 花なちらしそ あすか風 おほミヤひとハ よしめてすとも 同

あふみのや ミヤキハふりて 咲にけり いまもそのよの はなのさゝなみ 同

暮春雨

つゆおもく こそゑしけりて はなのくも いまハあとなき にはのはる雨
うちしめり さめくとのミ さほひめや 春のわかれの そてしほるらん
降雨に ミかさまされと はるハ今 いつちいくたの 川のしらなミ

54ウ

さのミなど あめハふるらん ちりのこる はなを、しめる ひとにそむ
きて

ふりそく 雨のまかひに ゆく春ハ うめのミのをや とりてきつらむ
春雨の けふさへふりて うのはなの かきねの雪と 日かすつみけり
ゆく春に はひまつハれる ふちなみの いろさへ夏に うつるあめかな
けふもまた あめのふるえの もろ蛙 なきてをしめと 春そくれゆく
かきくらし あめハなふりそ と、まらぬ よのことわりの はるのわか
れを

惜別恋

あめそく わか葉のつゆに ぬれながら 老ハかくれぬ うくひすの声
むつましく つはさならふる ねくらとり なかてわかる、 あかつきや
ある
おほかたハ ゆふへをうしと いふめれと あひてわかる、 あかつきの
そら
をしみつる その暁の おもかけハ まきのはしらを たちもはなれす
ふしのまに あけんとそする なにはえや みしかきあしの よをハたの
めハ
わか、けを ひとに見えむハ うきもの、 さらにわかれん こ、ち社(せ)せね
玉ならハ 涙をぬきて きぬくの そてのかたみに とりかへてまし
あひ見つ、 はるるこ、ろハ しはしにて またたちかはる むねの朝霧
かりそめの わかれもうしや しのふくさ われにのきはの つ
ゆならねとも

55オ

よこくもの わかる、ときは ふたなミの つくハの山の 名さへうらめし
ゆくすゑを おもへハこそハ 下のおひの けさハかたく たちもわか
るれ

晴後青山

ぬれいろの ミとりうつくし しらくもの はる、きのふの あめのかく山

五日節会

ためしとて あやめのつゆの たまかきに うかふちとせを きこしめす
らむ

ゆくミつの よとの、あやめ ひかれてハ くものうへにそ けふハかを
れる

おほ庭に たちつらなりて たちはなを ちかきまもりの そてにかくらむ

葵

あふひくさ かさ、ぬそても なかりけり かもミやちに つとふもろ人
なにそとハ おもひやりなき さとのこも かさすこと、て あふひひく
らむ

遅桜

春はよの はなくしとて 山かけに ひとりおくれて けふやさくらむ

詞和恋

たちよりて ひかハよるへく 見えながら きしかけたかき あをやきの
いと

百合

おくつゆの いろうつくしき さゆり葉の ミつはよつはに 花も咲けり

夏月涼

いかてかく す、しかるらん てる月ハ なつのほかなる そらハゆかしを

聞声恋

ひさの上に ならすもはかな からねこの 声きくのミを なくさめにして
ものこしに そならぬ声を きくにたに まつうちさわく むねそくるしき

乍臥無実恋

なよゝかに そのくろかミハ うちなひき ふすとハかりに 明はてにけり
よりそひし なかの衣の いかなれハ こよひたに猶 へたてはつらむ

56才

渡五月雨

おほかたの わたりもいまや 絶ぬらん はれぬさつきの 天の河ふね

窓前螢

かひなしと まとのほたるハ よるひかる たま〜きても とまらざる
らむ

空帰恋

うちとけぬ ひとをハさのミ こりすまに またよるなみの たちかへる也

菖蒲

たちならふ 小屋のゝきハも あやめくさ ふきのこさしと けふやひく
らむ
つきぬよの ためしもしるく あやめくさ ひきのこされて なほしけり
けり

大淀浦夏

あまをふね ちれるこのハと うきみるの うきてもゝしき おほよとの
うら

玉江夏

かりのこす つゆのたまえの あやめくさ すゑはミたるゝ さミたれの
ころ

瓢

としことに ちなりいほなり なりひさこ なりさかゆへき みにもある
かな

56ウ

山家五月雨

さみたれに つねハミつなき いはまより たきなミこゆる 山かけのさと
てつくりの 山すかみのも さみたれの くもあへたつる さとのなかかき
あひそめたる女に行末のこと何やかやとちきりて

いたふらむ 心もしらす はつくさの ことの葉しけく ちきりつるかな

山里にほとゝきすきゝにゆきたるにうの花のさかり也けれハ

ほとゝきす わかたつねこし 山口に うらまさしくも さけるうの花

夏のはしめつかた大る川に船うけて嵐山のわか葉を見る

さ月二ハ またもきて見む おほる河 うかひかてらに ミねのわか葉を

幽栖首夏

たれをかも たえすよふらむ よふことり なつのはしめの いほのしけ
みに

早苗

さくら人 さなへとるらし 千町田の たづらにたつの 声さわく也

57才

遊女

うかれめの みハうかひ火の かけなれや しつミもはてす よをわたり
つゝ

月前郭公

声のミハ あかすおもふを ほとゝきす 月にもかけの 見えすなるらん
閑中蟬

なつのひは おきてもねても をりハへて せみの声のミ われをかたらふ

樹陰納涼

井のへなる 桐のひとはの 下すゝミ あかすもけふは むすひつるかな
瓜

あちきなく いろにいてたる 山畑の くろのほそちハ たれかとるらむ

夏故郷

春きてハ ゆきま見えたる ふるさとの ミちもあとなき 庭の夏くさ
絶後恋人

57ウ

ひとたひハ をたえのはしの うきながら つきてわたらむ よしもあら
なむ

嫉妬恋

いせの海に おりたつたこの とはかりは うらみとおもへと さわくあ
た波

隠恋

いるかたハ さすかにみせて かくれたる 月のおもわそ みにそはりける

山居雨

山さとの にはのし、かき つまこめに くもたちのほる あめそさひしき

窟

こけむしろ しけるいはやハ 山ふしの あとをと、めぬ ふしとなるらむ

本居大刀自の八十賀寄鏡祝

す、かかは ちよへん松の かけ見えて きよきやそせの 水か、みかな

祇園臨時祭

あやにしき とりよろひたる 山ほこの 車おほちを ひきわたしけり

58才

いさむとて 神のそのふに 馬長か ひきつらねたる そてそにきはふ

榊葉二 ゆふとりして、 みな月の てる日す、しき 神まつりかな

蟬

みな月の なかはもすきの こすゑより 秋をちかミか ひくらしの声

梢たに ゆるくともなく あつきひに きつ、なくなり せみのはころも

をりはへて せみのなくねも わきかへり しみなかる、 松のした蔭

田家夏興

おくつゆも こ、ろよけ也 うゑはてて 風しりそむる かとのわかかなへ

あらかしめ あきのたのミを うちむれて かたるさとわの 夕す、みかな

をちここに 水せきワくる かふちたの たづらのさとの 夏そす、しき

野草先秋

ゆふつゆの にほひそめけり むしは猶 おのかあきまつ のへのはきはら

そてにちる つゆをす、しみ 花やとき あきやおそきと たとるのへくさ

色にて、 なひきそめても なつの野の しかハつれなき 萩の花つま

58ウ

水無月十日ハかり切川のさにてしきりに時鳥の
なくを聞て

わかなへの ミつもほとよく うちなひく してのたをさは いまもよふ也

夕立

耳もとに いまやおちくと なるかみは かしこきもの、 あめそす、しき

祇園臨時祭

なるかミの 光りなからに ミねこして いつちゆくらむ 夕たちのくも

みをさきに ほうちふりて みなつきの かミのみゆきの つらねてそ
ゆく

照射

ゆふつ、の 光りきえゆく くもまより ミねのほくしの かけそはりけり

寄獣恋

ひとこ、ろ あらの、とらの くちのハに か、るうきなそ くるしかり

ける

神祇

ゆふたすき かけてつかふる みやひとの おきなさひても ミゆるそて

かな

59才

夏月

なつ衣 かけうすれけり かたしきの ゆめはかりなる みしかよの月

夏夜易明

す、しみと めつるまもなく おくつゆの 月も光も かけそ明行

かねのおとハ うつ、なりけり 枕たに とりもなほさぬ ミしかよの月

夕立

降ほとハ うちミたれたる すかののはの つゆす、しくも はる、夕立

谷風如秋

あきありと ひとしるらめや 家しまの たきのうへふく なつのゆふかせ

草花先秋

おりそむる くさのにしきの はしみえて なつくれか、る のへの夕つゆ

みそき川 岸にいろめく あき萩を おもへハはなの ときにそありける
筆

ひとなみに ふてハとれとも くちをしく あとハこゝろに まかせさり
けり 59ウ

晩夏風

秋穂たる ほとをちかみか かとたもる いほりすゝしき 夕風そふく
ゆふかけて すゝしくなりぬ ミな月の なこしの山の ミねの松風
つゆむすふ まかきにとなる 秋つはの うすきたもとに 夕かせそふく
岩崎の網のうけを蓋置にして名をこハれけれハ
なたのしほちとつけてよめるうた

はるくと なたのしほちを こきくれハ ミるめになる、 あまのつり
ふね

岩本周道か加賀国なる山中のいてゆあみに行けるうまの

はなむけに
つゝみなく こしにありてふ しらやまの ゆきてかへらむ ほとをしそ
まつ

やまなかに きみかゆあみの かひありと ミねたちならし しかも鳴らむ
連日夕立

このころハ いこまかつらき かたワきて かゝらぬ日なく 夕たちそふる
夕立の ふるひさまねミ つゆしけき 蓮のうき葉ハ たかくなりけり

60オ

水無月ハ ふることわりの 夕立も 日をかさねてハ いふせかりけり
さりけなく そらハはれたる 山のはに かゝるやあすの 夕たちのくも

里蚊遣火

山かけや うちわたさるゝ さとなみに きそふかやりの 夕けふりかな
ゆふかほの 花の下ひも うちとけて かたるにあかぬ さとのかやり火

寄帯恋

こひすてふ 人のこゝろハ おひなれや とくれハやかて むすひそめけり

なちはの かみもいさめぬ みちなれハ ゆきめぐりても あハんとそ
おもふ

里蚊遣火

風見えて けふりの末の 一かたに なひきてくるゝ さとのかやりひ

漁家夏月

月なから

背面美人

さしかさす あふきのつまの はつゝに まみのにほひそ こほれか、
れる

世治文事興

とものおとハ よもに絶つゝ、 ひとことに ことゝふみゝる ちよのふる
みち

60ウ

しはしくハ なみのさわきの 浜ちとり たえにしあとも おこるみよかな
左手の ゆみとるかたハ おたしくて ことはのはやし しけるみよかな

蜘蛛のいとつゆのかゝりたるをみて

おなしくハ ゆふかたまけて 月かけも ぬきてとゝめよ くものゐのつゆ
しらつゆの たまぬきかけつ むら雨の よそにくれゆく くものいとすち
さゝかにの くものぬきたる たまのをの ほとゝしくも ゆふかせそ吹
みのいやしきをいとひて人のつれなかりけれハ

いたつらに ぬれぬよそなき いとはるゝ わかみしつえの 松の下つゆ
いやしとて さのみないひそ 瓜つくり みのなることも などかなからむ
七月四日の夜船にせうようしけるに

初秋風

こゝにしも かよひきぬらん 七夕の ひれふきかへす あまの川風
なかつせに ふねさしとめて 風までハ 水のうへにそ あきハウかめる
61オ

初秋風

せみの鳴 梢うこかし このゆふへ そてにしたしき あき風そふく

たなはたの おるいほはたの からにしき またきに秋の 風そたミける
初秋露

うす衣 そてにおほゆる すしきも またはつあきの のへのしらつゆ
きのふより けにそすしき 秋といへハ つゆのこゝろも おきかはる
なり

新秋月

つはくらめ また軒場もる ゆふ月に かりのたよりや まちいそくらむ
きりの葉の 一は二はと ちるまゝに さやけくなりぬ のきの月かけ

秋田露

うちなひく かとたのいなハ あさゆふの つゆをふゝみて やつかたり
けん

うゑしより こゝろおきたる さとわたの いなはのつゆの あきとなり
けり

秋夕

まはき咲 秋のゆふへハ おくつゆの 玉しくにはも さひしかるらむ
61ウ

あまつかり いまたなかねと ゆふつゆの もるやかとたの いほそわひ
しき

栽萩

さをしたに まかせはてんか くやしさに ねこし来にけり のへの秋はき
ねこしきて うつさぬつゆも おのつから ゆふへハふかき はきのうへ
かな

閑庭萩

わかやとの かせのやとりの 萩ならハ あきをあきとも しらすやあら
まし

さひしとて さのみいとはし 風のおとも きゝなしからの 庭の萩原

七夕船

あまの川 まかちしぬき おしわたる ふねよりさきに ゆくこゝろか

な
わかこゝろ ひとひもおちす のりなから けふのみわたる あまのかは
ふね

草花映月

つゆ見えて なひきあひたる 花ゝに ひかりをくはる のへの月かな
わかやとの 庭のつゆくさ よるみれハ 月こそはなの にほひなりけれ

庭虫

にはくさの 下葉にむすふ つゆのまも などまとろみて むしの鳴らむ
あきをへて つゆにたへにし わかやとの うきをさのミハ むしのなく
らむ

七夕霧

ひこほしの なけきのさきり なひけとも 天の川ちハ 明わたりけり

七夕山

はかなくて わかれもゆくか たなはたの たむけのやまの みねのよこ
くも

寄床恋

ものおもふ わか身をつくし つくくと なミたにくる、 とこの海かな
床のちり いたつらなから はらふまに なけきハいと、 たかくなりけり

山中間[賈]かよませたる今宮の里の八景のうた

荒陵晚鐘

なにハてら いたりあひのかねの 声くれて あハれさひしき をかの松風

三津夜雨

ぬるまたに あまのたもとや しほるらん ミつのとまやの よはのむら
さめ

広田秋月

はふりこか かへすたもとに 花とちる ひろたのもりの あきのよの月
かせさえて ほのかにくれぬ 七越の みねのあなたの きちのしらゆき

紀路暮雪

62ウ

湊江帰帆

みなと江や かせもしつけき しほふねの ほかけならへて くれかゝり
けり

木津落雁

いくつらか ともよひつれて 天つかり きつのとわた あきふけにけり

淡路夕照

よるなみの おともさやかに 夕くれの ひかりたゝさす あハちしまやま

清江晴嵐

すみのえの おきへはるかに くも晴て 松のあらしの おとそしつけき

積篋

海山の ものをつらねて おほ前に おきてまつれる けふにもあるかな

63才

おほくに、 みちをつたへて まつらるゝ けふをうれしと たまやうく
らん

秋風に そてふきかへし うるハしく ならふふみやの つかさひとかな
からくにの をしへのみちの 大人たちの ミかたつらねて けふそまつ
れる

いく秋か かけつたへけん もろこしの くに、かしこき ひとのミかたは
おきならへ まつるきのふの 大御食を すめらみことの きこしめすらん
ふみつくり 御饌たてまつる あきのひの とくくれをしき まつりなり
けり

山田春思か子うませたるをいはひて

松かえに はく、ミひたす ひなつるの いくちよくと なきはしむらん

古寺松

いろのミハ そのよのまゝに つゆしもを いくよかふりし てらの松かえ

御佛ハ ひさもくつさぬ 寺なから いらかふりたる 松のしたかけ

新秋月

天の川 くるれハやかて さしいつる 月のみふねを ほしにかさなむ

ひとはちる きりのこすゑの 夕つくよ ちゝにものおもふ あきハきに
けり

いつしかと つゆもあふきも おきそめて あハれみにしむ そての月かけ

63ウ

みそきして なかすきのふの ゆふつくよ 川せにうかふ あきそすゝしき

夕月の かつらのつゆを ふく風や あきのひかりを まつちらすらん

あきのたつ こすゑのせみの から衣 たもとすゝしき 夕月よかな

夕月夜 ほのめくみねの くもはれて 松にこゑする あきの初風

きく子か夫のおもひにこもりたりけるころよみてかたへのひとの

かりおくる

よのことハ つはさならふる ちきりさへ むなしきとこの あきのゆふ風

さもこそハ うきよのなかの さかならめ きえけんくさの つゆのゆく

へハ

あめとのミ さそしほらん 我たにも つゆけさまざる そてのあきかせ

葉月のはしめつかた法流寺にて人ゝとゝもに うたよみける時

みのむしの よふちゝのきの こすゑより あきのいろこそ みえそめに

けれ

川鰈

うちひとハ さてさしわたし 川ゑひの 手長のみけに たてまつるらむ

山霧

なら山や いまハみやこも かみさひて あききりふかく かをりみちけり

さしつぎて しのひたく也 やなかまで きりたちまよふ おくのやまさと

萩の屋の萩のさかりに

つゆなから 垣の小柴に ゆひそへて あきもさかりに にほふはきはら

つまこふと なくなるしかに おなしくハ しらせまほしき 萩の花その

しめのうちを またゆるされて あきはきの 花のにしきに たちましり

けり

こハはやくみたりしもミとせへにけれハかくよめるになん

64才

又あるし みすて、ハ たれか、へらんさくはきの つゆもえな
らぬ 夕月のかけ とよめるかへし

あきはきの 花すり衣 たちわかれ わかゆくかたを いかてみるらむ
初秋待雁

かりハまた かけてもなかぬ ふみ月の そらなつかしき 声そまたる、

月前虫

馬草かる のかミのさとの くつわ虫 月におかれて こゝらなくらむ

艶女遇他人

我こそと おもひかけしを 女郎花 あこのおほのに なひくつゆかな

64ウ

鹿

ひとよかる 松かねまくら そはたて、 きくともしらす しかや鳴らむ
おほえやま きりたちいて、 さをしかの なきていくのに つまやこも
れる

南郷宗準 加藤照満 服部拳直 村田義堅

このひとくくのなをかくして 収といふ字を句の末におきて

よめる月のうた

てりみちて みなミのさとハ くれはとり むらたつくもそ 月におさまる

月照草花

あかなくて くれにしちハ つゆや花 はなやいろなる のへのはきはら

日ころへたてたる

たのためつる 朔日ころの 夕月よ いまハつれなき ありあけのそら

あハすして いまハ日ころを ふる衣 うきあかつきを かさねきにけり

風前鹿

しかのねを 我につてけり を花ちる さとわの、への あきのゆふかせ

65オ

八月十五夜こよひしもいたつらにねんハくちをしくて川つら

ゆくほとくもたちおほひて月いてぬとハかりほのかなりけれハ

けにくもハ こゝろもなしや くにこそり 月まちいそく 夕くれのそら

又大城の御門の外なる原にいて、ミワたすに人けいとまれにて

月ハやうくもはなれてさしいてたり

た、ひとり 月にうかる、 わか、けを 心あるさまに 人や見るらむ

釈典

あきのひの とくくれをしも からにしき あやにかしこき けふのみま

つり

水中月

さてもちて すくひもあけよ 山川の やなせにかゝる 月のしらたま

ふたつなき 月のひかりを ちよろつに くはりてみかく たきのしらたま

荒屋月

やへむくら 軒とひとしく しけりてハ つひに月たに すますなりけり

人のあしのはにさして するやいかに なのはの秋の よはの月

このあかつきの つゆのあハれを といひこしけれハかへし

ありあけの 月をあハれと かそへきて いまハおいぬる われをしらすや

65ウ

あしか花 なひくなにはの 川尻ハ ところからにや 月もすむらむ

都擣衣

風さむき 月のミやこの からにしき うつやくもぬに 声ひ、くらむ

ころもうつ みやおほちの たてよこに 声もみたれて あきそふけゆく

あハれたる すさひなるらん とのへもり 身もはたさむく ころもうつ声

うつおとも 秋ふけにけり かも河や きよきなかれの ときあらひきぬ

あきさむき おほうちやまの 山ひこハ そらに声して うつころもかな

山家秋雨

山さとハ つゆよりさきに にはさくら うつろひそむる あきのあめかな

さらぬたに あきなるものを やまさとの あめしめやかに けふもふり

けり

薄の風になひきたる

あき風の 吹にしたかふ 花すゝき いまいくかあらハ 雪とちらまし

仙家

ときのまと おもふにくちし をのゝえに うちおとろきて 家をしそおもふ 66才

寄秋恋

はしめより あきてふもしハ いみつるを あやしやそてに かゝるしらつゆ

遠村秋夕

あきふかき きりのまかきの ひまもれて かねの音とほく くるゝやまさと

をちかたや あきふけわたる 夕ぐれの あハれくらへて たつけふりかな萩のうつろひかたなるを

秋雲

つゆさむき 庭のはきハラ うつろひて 下葉のいろそ ふかくなりけるあきふかミ しくるゝまでハ あらねとも かゝりかゝらぬ ミねのうきくも

野女郎花

おひらかに のへのをはなに たちそひて そむくいろなき をみなへしかな

深山鹿

みにしめて ふけゆく月を なかむれハ くもよりをちに しかそなくなるよそに見て人をこふる 66才

おほかたの ふるものかたり きくにたに わりなくひとの しのはるゝかな

おにふれて催恋

おほかたの ふるものかたり きくにたに わりなくひとの しのはるゝかな

菊叢芳

たちならふ あたしくきはの つゆさへも あらそひかほに かをるむらきく

撰虫

はきにそひ すゝきによりて なくむしの なかきみしかき 声をわくらむむしたにも みことかしこみ 声のあやを 心のかきり けふやつくせる

すゝきにみかつきかけるかた

さつひとの ゆみなりつきの かけ見えて をしかふすのに 秋風そ吹

菊のえに

なゝかへり もゝよへつるも 山かけの このしたつゆに よりてなりけり

月前竹

からひとの むかしのふての あと見えて たけの葉うつる 月の下まとある女のこのよにてハあひかたしのちのよをたのめといひけれハ 67才

まことあらは しにもせましを のちのよの あひなたのみハ せんかたもなし

田家冬興

もみちゝる さとの翁か にひしほり にほひてあそふ ふゆそゆたけき

冬山にしかのなきけれハ

ゆくあきハ おくりはてたる 声のうちに しくれもよほす ミねのさをしか

遠炭竈

すみかまや ミねのけふりの なか絶て よこくもかゝる あかつきをやま

霜月朔日のひ

としありと かみにゝえする 月たえて しものあさけそ のとけかりける

冬朝

下さやく あさてをふすま ひきすて、 まとのとてらす 朝日をそまつ

大公望

いとすちの なほきハリもて あめのした しらさんきみか

こゝろつるらむ

いと

野鷹狩

67ウ

ミかりのハ そらゆくくも、 はやふさの いちはやくのミ 山かせそふく

残紅葉

たゝひとひ ひとゝきたにも あるものを けふもうれしく のこる紅葉

はしめてふみを見る

ことの葉の すゑハほのかに かきなして おほつかなさを そふるきみ

かな

埋火

うつみひの うもれてのミハ よをへしと しものふるふミ くりかへし

つゝ

寒月

くぬきハラ よはのあらしの おとさえて こすゑにこほる ふゆのよの月

こほりにハ 月やさわらぬ あまの川 かせさゆるよも かけそなかるゝ

冬の林に小鳥むれるところ

小林の もみちあらはに ちりすきて いろとりのみそ たちさわきける

おひうてと のこるこのミを もりはむと うたてことりの むれつゝそ

くる

のこりたる あきのこのみを むれはみて まめうましとや とりのなく

らむ

68オ

五節

くものうへに かよるをとめか からころも 雪の花をも ちらしつるかな

うるはしき あまつをとめの たまかづら くものうへにや かけとゝむ

らむ

荒屋落葉

いまはたゝ のきも垣根も くち葉のミ かさなるふゆの 日かすをそしる

再絶恋

たちかへり むすふ野中の わすれ水 いまはたいかて みちハたゆらむ

時雨のふるよかさかりにたちよりし人に

しくれ降 かさのかりての わすられし ひとさへこよひ おとろかしけり

又うちかへしくといふことをよみておくりたるかへし

むすほるゝ をけのうみをの くりことを いひとくよしも なミたなり

けり

深夜霰

ひさかたの 月もやみかく たまあられ ふけゆくまゝに ちりみたれけり

閑居初冬

かみな月 いつしかくれて すく^くる^るまに ちかきいほりそ しくれかち

なる

浦千鳥

をちかへり 夕浪ちどり すみよしの 松のあらしに たちさわくらむ

垣根寒草

かつくゝに のこるもさひし あさゆふの しもふきむすふ かきのかけ

くさ

冬松

夕こりの くもハあらしの 吹ときて ゆき松かえそ みねにこたかき

霜

たへのほに しもさゆるよは あつふすま かつきてぬれと わひしかり

けり

あともなく わたり絶けり よあらしの 霜吹むすふ ゆめのうきはし

暁天時雨

あかつきの けしきをそへて むらしくれ くもりもはてぬ をちの山のは

神無月なかは空いとのかなりけれハ

かきくらす しくれのくも、 けふのミハ とほきみやまを ゆきめくる

らむ

池水鳥

うつくしき 心も見えて さゝなミの ならひてうかふ いけのをしとり

69オ

人の庭に松をうゑてうたこひけれハ
うつしうる けふよりいろを あらためて ちよまつかけの たのもしき
かな

初雪見参

名のりする そてのかをりも たちぞひて けさ、きいつる 雪のはつ花
みかきもり 衛士のたもとの 風さえて か、り火しろく あくる雪かな
船中遊女

海棠

かハふねの ひくてになひく うかれめの 心よるせハ あまたならめや
春風に ねむりさむらん たをやめの はなのくちひる うこきそめけり

春海

おきつなミ おとさへたえて 松かせの 吹もやふらぬ はるかすみかな

夕落□

かはかりハ さもあらハあれと おもふまに ゆるさぬはなを さそふゆ
ふ風 〔69ウ〕

名所鶴

きみかよハ すむかひありと 天とふや 鶴の郡に むれあそふらむ

冬夜難明

しもさゆる まとのともし火 いくそたひ か、けてのちか ひましらむ
らむ

夕恋

おもふにも まかせぬひとに すみそめの ゆふへハそらに なるこ、ろ
かな

深山幽居

すまハ又 こ、もうきよの 外ならし わしのか、なく おくの山さと

井水

かとのゐに むすふこほりハ よもすから うつるかつらの ひかりなる
らん

塩やき衣
うらのあまの しほやきころも ぬきかけて ひとにくからす みゆる松
かな

□走ハかりものへゆきけるに

ひはりなく 春ちかくこそ なりにけれ のへのむきふそ あさみとりなる

遠恋

おきとほミ ミるめハからす あひおもふ こ、ろハおなし うらにまよ
へと

遅

風さゆる ひむろの上の さくら花 時におくれし 色としもなし

聞

よをすて、 みをおく山の まつ風も み、のそこなる ちりハはらハし

春色浮水

あさみとり かすみなかれて 川つらハ なみのうねく、 はるかせそふく

野鶯

うくひすの 声ハさたかに き、なから なほいきたなき 春のあけほの

群仙煉葉図

くすりねる けふりそかすむ 松のハを すきてよをふる 山ひとのやと
山人の くすりはむなる 庭鳥ハ くものうへにや 声をたつらむ

美人遊春図

あらそへる はるのこ、ろも にほやかに ミたれてかさす はなのいろ
かな 〔70ウ〕

はらへとも そてのいろかを したひきて うたてこてふそ われにたは
る、

春氷

いかてまた 吹むすふらむ ひもか、み とくをならひの はるの朝風

若菜知時

雪わけて ひとにつまる、 けふそとハ わかなもしたに しりてもゆらむ

庭鶯

こゑわかき にはのうくひす こかくれて うらやさしけに けさそなく
なる

朝柳

さほひめの 、とけき春の 朝ねかミ ミたれてみゆる 柳はらかな

霞添春光

梅かをり 柳なひきて しらゆきも かすめハはるの ものとなりけり

梅遠薫

松のかを たけのあらしも かをりけり かく山さとの 梅のさかりは

早春

さほひめの かすみのころも たちしより ひとのたもとも 春めきにけり

春のはしめのうた

うちわたす みやこのそらハ かすむ日も 春とハしらし 雪の山すみ

春旅

わらひをり 柳かさして はるのひハ たひをたひとも おもはさりけり

余寒雪

さえかへり ミたれて雪ハ ふりくれと えたにもためぬ 春風そふく

短

あさゆふに 吾とるふての つかよりも みしかきころ やるかたそなき

つくし

いさことも のへのかけろふ うちみたれ てことにけふハ つみつくし

なの花

さとわたの なのはなさけり あめちかき ゆふひのそらも にほふハか

りに

寄海恋

わたつミの そこつたからの たまぐも あふことなみに 身をやしつ

めん

寄貝恋

おきつ風 あらいそなミの うつせ貝 身のゆくへたに しらぬわかこひ
こひやす

こひすれハ ミきりのいけの 水か、み このみは梅の かけにやせにき

落梅浮水

ミつのうへに ちりてた、よふ 梅か、ハ そらになかる、 はるのかは
かせ

すみれ

あたなれや のへのすみれの こむらさき にほふをとめか そての春風

雲雀

わけまよふ のちのひハりの つまこもる 床をいくらか おとろかすらむ

山かすむ のちのこしかた ゆくさきに 声するものハ ひはりなりけり

春水

ゆくミつの ぬるみそめけり 色みえて したくさもゆる さとのなか、は
せきわけて わかさとわたを ゆくミつの くもてにはるの いろそなか
る、

紅梅 もの、名

うくひすの たつねてやゆく をとめこか 花つみいる、 こをハいづくと

水郷春望

あけわたる いなさほそえの ミをつくし はるかに富士の 雪そかすめる

夜かれ

わかやとの 松にきなる、 ねくらとり ひとよもかれぬ ことそものしき

雨中春艸

てふとりの つはさしをれて あめかすむ 春のおほのに なひくわかくさ

ゆく河ハといふことを三の句におきて

さくらさく 春にわかれて ゆくかわハ かへりみをたに などせさるらむ

閑居春月

あやもなく かすみこめてハ さひしさも よに、ぬやとの ありあけの月

鞆青

春の、の くさのみとりに たちましり さもかきりなく ゆくころかな

幽栖春月

72ウ

うちむかふ こゝろさへにぞ おほるなる こふかきやとの はるのよの月

詩

わかしらぬ からもしと悉の うたなから あハれハおなし こゝろなり
けり

過門恋

せきもりの うちぬるひまを もとめても なくく過る いもかかとかな

故郷鶯

ふるさとに なれし春とて うくひすハ きくひとなしに ねをもなくかな

忍経年恋

あさましや こゝろにこめて おもふまに としのかすさへ みにそはり
けり

海辺春霞

ゆふ日さす そらハかすみて むらさきの なたかのうらに 春風そふく

春雨夜静

しめやかに はなのところを さためけり はるのあまよの ものかたり
して

山家流水

73オ

いくめぐり ゆきめくるらん 山さとの うしろのみねを おつるたき河

孤舟

まかひつる くもハはるかに あとたえて おきつほしらく くれのこり
けり

故人入夢

そのひとハ ゆめのたゝちに ありあけの おもかけきゆる ミねのうき
くも

戸外春風

百千鳥 さへつりかハす しハのとに ひとついさなふ はるかせそふく

疑恋

たのまんと おもふこゝろの つくからに うたかはしさも かつまさり
つ、

ちかくてあハす

あハてた、まよふこゝろハ くらま山 つゝらをりなる わかこひちかな
閑中日長

春の日ハ ことゝふみゝる しをりさへ おもひのほかはに ふかくなりけり
すゝな

ふりはへて とふ人もなし いたつらに すゝなはなさく 春のやまさと

梅ちりし あかたのさとの かきもとに すゝなはなさく 春のさひしさ
73ウ

雨中苗代

なはしろの けさのミとりを ふるとのミ なかめくらせる ひとにみせ
はや

幽居有余楽

このきミの かけにかくる、 軒ちかく 鶯さへも きつゝやとれり
正法寺大とこの芋にそへてよをいとふわかみになれし

山てらのいものおやこをいかに見るらんとよみておくりたまふ
よろこひに

白蔵主

うつくしき いもとしいは、 おいなから なほすきたりと なにもこそ
たて

鉢たゝき

はかなくも おのかこのみを すてかねて こゝろのやみに まよふなる
らむ

ひとのよの むなしきことハ なりひさこ うつゝもゆめと おとろかし

つゝ

寄亀祝

かめのこの うまこのすゑの 末のこの 末のよはひも きみそかそへむ
富景楼十景之中恩智流螢 74才

からたまを みたすほたるか みなかミハ やまと川てふ なかれなからに
さつきやみ あやなくくるゝ 川見えて ミなかみしもに ほたるとふ也
れて

おなし楼にのほりて

めちとほく よものそみも うちはれて うへ春秋に とめるやとかな
たかやすの 山もとかけて はるくと 春のにしきハ むらこなりけり

吉田主の殿よりたまハせたる硯のふたに蘭をかきたるに

あるひとの□□といふ名をおふせて其心をよみし歌こハレ

けれハよめるそのことよしハ鶉居の大徳のからさまのふみに

つくされたり

蘭（むしばかま）かをりあひつゝ、うまひとの うまきころは へたてさりけり

蛙

月かすむ かとたのかはつ 声たて、 ねふりもよほす はるのよはかな
うちむれて さとのかはつの うた袋 ひもとくはなの かけになくらん

あひおもふなかを人にさまたけられて

ゆふきりの たちまよふなる このころハ くもゐのかりの 声もきこえず

春江花月夜 74ウ

おほゐ川 いら江の花の しら波に たゝよふ月の かけそかすめる

互恨恋

うらむれハ うらみかへして こひ衣 かたみにふかき こゝろをそしる

寄菅恋

すかの葉を やはりにさきて はらへとも うきハみにそふ こひころ

もかな

桃

くれなるに そらも匂ひて 夕つくひ さすやたかつの のへのもゝその

海人

かつきする いせをのあまよ ことならハ みてかへらなん わたつみの
ミヤ

弥生に山寺に詣て

くもゆきと めてあらそひて ひとそくる つねなきはなの にしの山てら

夕春雨

山てらハ かすみてくるゝ あめのひも ちかくきこゆる いらあひのかね

梅浮水

うめの花 ちりて井手こす 水のうへに にほひなかるゝ 春の山河

初花

いまくと ひとにまたれて 庭さくら うれしきいろを けさハみせけり

田家春雨 吉田氏会

たつたみの ミのもしをれて すきわたす よしたのさとの はるさめの

そら

さとひとハ まかぬたなるの みづくさも ふかきみとりの はるさめそ

ふる

あめそゝく 田中のさとの 暁に しつけく晴を よふことりかな

藤

ふちのはな 咲そめにけり 鶯の 声もおいその もりのこすゑに

ゆくはるを まとひもとめす うちなひき なつにひかるゝ ふちのはな

かな

色

めにみゆる ものゝいろより よのなかの ひとの心の あやもなしけり

題しらす

雪しくれ 山のかすみハ いまさらに いかてかふゆに たちかへるらん

の

むらしくれ をりたかへたる 山吹の みのしろころも なきそわひしき

山吹 なみもやあろふ しろたへの うのはなころも いまた、んとて 75ウ」

瀧辺落花

はる風に こすゑはなれて くさかのや はなささかゝる たきの白浪
み、あらふ たきのなかれの きよき瀬に うきいろ見せて 花そうかへる

春尽鳥声中

おほそらに なくやひハりの 声のうちに くる、か春の そこはかどなく
せき山や すきのこのまの よふことり 過ゆく春を よひもと、めす

水音似雨

たゆミなく あめのおとして しめやかに のきはにちかく おつる山河
ほし見えて そらなくもらぬ 山水の われにきせたる あめのぬれきぬ

三好之信か父の二月のはしめつかたみまかりけるに

あたものと なにたつ花に さきたちて きえつるえたの つゆそはかなき
弥生廿日ハかり日下の里に行たるにそらかきくもり

冬のさましてうちしくれたり その日ちかきぬかたのさとの

みよし某かことをおもひて 76オ」
ぬかた山 ふりにしあとを たつぬれハ 春もしくれの かきくらしつ、

春夜夢

さくら花 ちるハマさしき はるのよの ゆめおとろかす 庭のあさかせ
二夜へたてたる

ひるまたに おほつかなきを たまくしけ あくるふたよの めさましき
かな

苗代

いくしやし みとまつる也 里、に いまやあきほの たねおろすらん
暮春霞

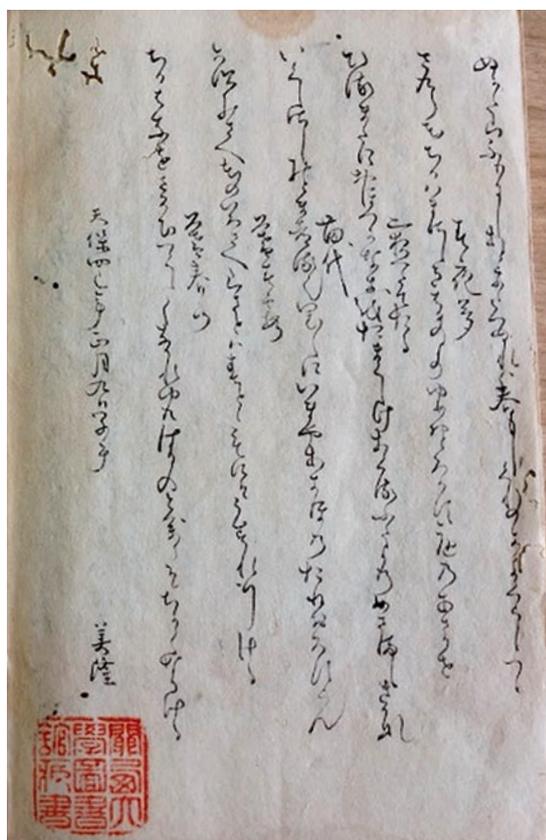
かすみさへ 花のいろさへ 山さとハ 春と、もにそ うすれ行ける

暮春水

ちるはなを さそひつくして なかれゆく はるのとまりそ ちかくなり
ける

天保四巳年正月九日写乎

美隆 76ウ」



第76丁裏



Kansai University
Library Forum